

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|---|--------------------|-----|---|---|---|---|--------------------|-----|--|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | | | | | 第1編 | 1 | | | | | 第1編 | 共通編 | | |
| 1 | 1 | | | | 第1章 | 1 | 1 | | | | 第1章 | 総則 | | |
| 1 | 1 | 1 | | | 第1節 | 1 | 1 | 1 | | | 第1節 | 総則 | | |
| 1 | 1 | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 適用 | | |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | | 受注者は、標準仕様書の適用に当たっては、「林業土木工事監督要綱」及び「林業土木工事検査要綱」（以下「監督要綱」及び「検査要綱」という。）に従った監督、検査体制の基で、建設業法 第18条 に定める建設工事の請負契約の原則に基づく施工管理体制を遵守しなければならない。また、受注者はこれら監督、検査（完成検査、既成部分検査）に当たっては、地方自治法（ 令和2年3月改正 法律第5号 ）第234条の2 に基づくものであることを認識しなければならない。 | 受注者は、標準仕様書の適用に当たっては、「林業土木工事監督要綱」及び「林業土木工事検査要綱」（以下「監督要綱」及び「検査要綱」という。）に従った監督、検査体制の基で、建設業法 第18条 に定める建設工事の請負契約の原則に基づく施工管理体制を遵守しなければならない。また、受注者はこれら監督、検査（完成検査、既成部分検査）に当たっては、地方自治法（ 昭和22年4月17日 法律第67号 ）第234条の2 に基づくものであることを認識しなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 2 | | | 1 | 1 | 1 | 2 | | | 用語の定義 | | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 39 | | | | | | | | | 新規追加 | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 40 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 39 | | 工事とは、本体工事及び仮設工事、またはそれらの一部をいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 41 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 40 | | 本体工事とは、設計図書に従って、工事目的物を施工するための工事をいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 42 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 41 | | 仮設工事とは、各種の仮工事であって、工事の施工及び完成に必要とされるものをいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 43 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 42 | | 工事区域とは、工事用地、その他設計図書で定める土地または水面の区域をいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 44 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 43 | | 現場とは、工事を施工する場所及び工事の施工に必要な場所及び設計図書で明確に指定される場所をいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 45 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 44 | | SIとは、国際単位系をいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 46 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 45 | | 現場発生品とは、工事の施工により現場において副次的に生じたもので、その所有権は発注者に帰属する。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 2 | 47 | | 1 | 1 | 1 | 2 | 46 | | JIS規格とは、日本産業規格をいう。 | 軽微な修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 5 | | | 1 | 1 | 1 | 5 | | | 施工計画書 | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|-----|---|---|---|----|---|-----|--|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 5 | 1 | | 受注者は、工事着手前または施工方法が確定した時期に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に提出しなければならない。なお、工事書類の簡素化のため、林業土木工事の書類作成にあたっては「工事書類作成マニュアル(受注者編)」(新潟県 土木部 技術管理課 作成)を参考に作成すること。 | 受注者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に提出しなければならない。なお、工事書類の簡素化のため、林業土木工事の書類作成にあたっては「工事書類作成マニュアル(受注者編)」(新潟県 土木部 技術管理課 作成)を参考に作成すること。 | 文言追加修正 |
| 1 | 1 | 1 | 5 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 5 | 2 | | 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督員に提出しなければならない。 | 受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合(工期や数量等の軽微な変更は除く)には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督員に提出しなければならない。 | 軽微な修正 (番号) |
| 1 | 1 | 1 | 5 | 4 | | 1 | 1 | 1 | 5 | 3 | | 受注者は、施工計画書を提出した際に、監督員が指示した事項については、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。 | 受注者は、施工計画書を提出した際に、監督員が指示した事項については、さらに詳細な施工計画書を提出しなければならない。 | 軽微な修正 (番号) |
| 1 | 1 | 1 | 10 | | | 1 | 1 | 1 | 10 | | | 工事の着手 | 工事の着手 | |
| 1 | 1 | 1 | 10 | 0 | | 1 | 1 | 1 | 10 | 0 | | 受注者は、特記仕様書に工事に着手すべき期日について定めがある場合には、その期日までに工事着手しなければならない。 | 受注者は、特記仕様書に定めのある場合を除き、特別の事情がない限り、契約の日から起算して7日以内に着手しなければならない。 | 文言追加修正 |
| 1 | 1 | 1 | 11 | | | 1 | 1 | 1 | 11 | | | 工事の下請負 | 工事の下請負 | |
| 1 | 1 | 1 | 11 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 11 | 3 | | 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。なお、下請契約を締結するときは、 <u>下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。</u> | 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。なお、下請契約を締結するときは、 <u>適正な額の請負代金での下請契約の締結に努めなければならない。</u> | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 12 | | | 1 | 1 | 1 | 12 | | | 施工体制台帳及び施工体系図 | 施工体制台帳及び施工体系図 | |
| 1 | 1 | 1 | 12 | 3 | | 1 | 1 | 1 | 12 | 3 | | 第1項の受注者は、監理技術者、 <u>監理技術者補佐</u> 、主任技術者(下請負者を含む)及び第1項の受注者の専門技術者(専任している場合のみ)に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札等を着用させなければならない。なお、名札は図1-1-1を標準とする。 <u>(監理技術者補佐は、建設業法第26条第3項ただし書に規定する者をいう。なお、監理技術者補佐を配置する場合に適用する。)</u> | 第1項の受注者は、監理技術者、主任技術者(下請負者を含む)及び第1項の受注者の専門技術者(専任している場合のみ)に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札等を着用させなければならない。なお、名札は図1-1-1を標準とする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|-----|--|---|---|---|----|-----|--|--|------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 12 | 3 | 図 | 図1-1-1 名札の標準図  <p>[注1] 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 [注2] 所属会社の社印とする。</p> | 1 | 1 | 1 | 12 | 3 | 図 | 図1-1-1 名札の標準図  <p>[注1] 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 [注2] 所属会社の社印とする。</p> | 諸基準類の改訂に伴う修正（修正） |
| 1 | 1 | 1 | 13 | | | 受発注者間の情報共有 | | | | | | | | 新規追加 |
| 1 | 1 | 1 | 13 | 0 | | 受発注者間の設計思想の伝達及び情報共有を図るため、設計者、受注者、発注者が一堂に会する会議を施工者が設計図書の照査を実施した後及びその他必要に応じて開催するものとする。なお、開催の詳細については、特記仕様書の定めによるものとする。 | | | | | | | | 新規追加 |
| 1 | 1 | 1 | 14 | | | 受注者相互の協力 | 1 | 1 | 1 | 13 | | 受注者相互の協力 | | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 15 | | | 調査・試験に対する協力 | 1 | 1 | 1 | 14 | | 調査・試験に対する協力 | | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 16 | | | 工事の一時中止 | 1 | 1 | 1 | 15 | | 工事の一時中止 | | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 16 | 1 | | 発注者は、約款 第21条 第1項 及び 第2項 の規定に基づき以下の各号に該当する場合には、あらかじめ受注者に対して通知した上で、必要とする期間、工事の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。なお、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または人為的な事象による工事の中断については、1-1-1-50 臨機の措置 により、受注者は、適切に対応しなければならない。 | 1 | 1 | 1 | 15 | 1 | 発注者は、約款 第21条 第1項 及び 第2項 の規定に基づき以下の各号に該当する場合には、あらかじめ受注者に対して通知した上で、必要とする期間、工事の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。なお、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または人為的な事象による工事の中断については、1-1-1-48 臨機の措置 により、受注者は、適切に対応しなければならない。 | 表記修正（番号） | |
| 1 | 1 | 1 | 17 | | | 設計図書の変更 | 1 | 1 | 1 | 16 | | 設計図書の変更 | | 軽微な修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|---|----|---|-----|---|---|---|---|----|-----|---|------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 1 | 1 | 1 | 18 | | | 工期の変更 | 1 | 1 | 1 | 17 | | 工期変更 | 軽微な修正（番号）、文言追加修正 |
| 1 | 1 | 1 | 19 | | | 支給材料及び貸与品 | 1 | 1 | 1 | 18 | | 支給材料及び貸与品 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 20 | | | 工事現場発生品 | 1 | 1 | 1 | 19 | | 工事現場発生品 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 21 | | | 建設副産物 | 1 | 1 | 1 | 20 | | 建設副産物 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 22 | | | 特定建設資材の分解解体等及び再資源化等の適正な措置 | 1 | 1 | 1 | 21 | | 特定建設資材の分解解体等及び再資源化等の適正な措置 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 22 | 2 | | 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再資源化が完了した場合には、建設リサイクル法第18条 第1項 の規定に基づき、次の事項等を書面に記載し、監督員に報告しなければならない。また、この書面は、本編 1-1-1-21 建設副産物 第5項 に記載する工事完了後に提出しなければならない。なお、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の実施状況記録を兼ねるものとする。 | 1 | 1 | 1 | 21 | 2 | 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再資源化が完了した場合には、建設リサイクル法第18条 第1項 の規定に基づき、次の事項等を書面に記載し、監督員に報告しなければならない。また、この書面は、本編 1-1-1-20 建設副産物 第5項 に記載する工事完了後に提出しなければならない。なお、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の実施状況記録を兼ねるものとする。 | 表記修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 23 | | | 工事材料の品質 | 1 | 1 | 1 | 22 | | 工事材料の品質 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 24 | | | 監督員による検査(確認を含む)及び立会等 | 1 | 1 | 1 | 23 | | 監督員による検査(確認を含む)及び立会等 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 25 | | | 数量の算出 | 1 | 1 | 1 | 24 | | 数量の算出 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 26 | | | 品質証明 | 1 | 1 | 1 | 25 | | 品質証明 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 27 | | | 工事完成検査 | 1 | 1 | 1 | 26 | | 工事完成検査 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 27 | 7 | | 受注者は、当該工事の完成検査については、1-1-1-24 第3項 の規定を準用する。 | 1 | 1 | 1 | 26 | 7 | 受注者は、当該工事の完成検査については、1-1-1-23 第3項 の規定を準用する。 | 表記修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 28 | | | 既成部分検査等 | 1 | 1 | 1 | 27 | | 既成部分検査等 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 28 | 5 | | 受注者は、当該既成部分検査については、1-1-1-24 第3項 の規定を準用する。 | 1 | 1 | 1 | 27 | 5 | 受注者は、当該既成部分検査については、1-1-1-23 第3項 の規定を準用する。 | 表記修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|---|----|---|-----|--|---|---|---|----|-----|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 1 | 1 | 1 | 29 | | | 臨時検査 | 1 | 1 | 1 | 28 | | 臨時検査 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 29 | 6 | | 受注者は、当該臨時検査については、1-1-1-24 第3項の規定を準用する。 | 1 | 1 | 1 | 28 | 6 | 受注者は、当該臨時検査については、1-1-1-23 第3項の規定を準用する。 | 表記修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 30 | | | 部分使用 | 1 | 1 | 1 | 29 | | 部分使用 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 31 | | | 施工管理 | 1 | 1 | 1 | 30 | | 施工管理 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 31 | 6 | | 受注者は、 工事の適正な実施に必要な技術的能力の向上、情報通信技術を活用した工事の実施の効率化等による生産性の向上並びに技術者、技能労働者等育成及び確保並びにこれらの者に係る賃金、労働時間、その他の労働条件、安全衛生、その他の労働環境の改善に努めなければならない。 また、受注者は、作業員が健全な身体と精神を保持できるように作業場所、現場事務所及び作業員宿舍等における良好な作業環境の確保に努めなければならない。 | 1 | 1 | 1 | 30 | 6 | 受注者は、 作業員の労働条件、安全衛生、その他の労働環境の改善に努めなければならない。 また、受注者は、作業員が健全な身体と精神を保持できるように作業場所、現場事務所及び作業員宿舍等における良好な作業環境の確保に努めなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 32 | | | 履行報告 | 1 | 1 | 1 | 31 | | 履行報告 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 33 | | | 工事関係者に対する措置請求 | 1 | 1 | 1 | 32 | | 工事関係者に対する措置請求 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 34 | | | 工事中の安全確保 | 1 | 1 | 1 | 33 | | 工事中の安全確保 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 34 | 1 | | 受注者は、新潟県林業土木工事安全施工技術指針(令和2年3月)、森林土木工事安全施工技術指針(平成15年3月27日付け14林整計第360号 林野庁森林整備部長通知)、建設機械施工安全技術指針(国土交通省大臣官房技術調査課長、国土交通省総合政策局建設施工企画課長通達 平成17年3月31日)、建設工事公衆災害防止対策要綱(国土交通省告示、令和元年9月2日)、「港湾工事安全施工指針(社)日本理立浚渫協会」、「潜水作業安全施工指針(社)日本潜水協会」及び「作業船団安全運航指針(社)日本海上起重技術協会」、JIS A 8972(斜面・法面工用仮設備)を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。 | 1 | 1 | 1 | 33 | 1 | 受注者は、新潟県林業土木工事安全施工技術指針(令和2年3月)、森林土木工事安全施工技術指針(平成15年3月27日付け14林整計第360号 林野庁森林整備部長通知)、建設機械施工安全技術指針(国土交通省大臣官房技術調査課長、国土交通省総合政策局建設施工企画課長通達 平成17年3月31日)、建設工事公衆災害防止対策要綱(建設省建設事務次官通達 平成5年1月12日)、「港湾工事安全施工指針(社)日本理立浚渫協会」、「潜水作業安全施工指針(社)日本潜水協会」及び「作業船団安全運航指針(社)日本海上起重技術協会」、JIS A 8972(斜面・法面工用仮設備)を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い、災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | |
|---|---|---|----|----|-----|---|---|---|----|----|-----|------|---|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 34 | 11 | | 1 | 1 | 1 | 33 | 11 | | | 受注者は、各種の安全確保に関する活動記録や安全教育及び安全訓練等の実施状況についてのビデオ等、または工事報告等に記録した資料を整備および保管する。また、監督員から請求があった場合には、保管している資料を直ちに提示するものとする。 | 受注者は、各種の安全確保に関する活動記録や安全教育及び安全訓練等の実施状況についてのビデオ等、または工事報告等に記録した資料を整備及び保管する。とともに、それを整理した安全管理総括表を提出するものとする。また、監督員から請求があった場合には、保管している資料を直ちに提示するものとする。 | 文言削除 |
| 1 | 1 | 1 | 34 | 14 | | 1 | 1 | 1 | 33 | 14 | | | 監督員が、労働安全衛生法(令和元年6月改正 法律第37号)第30条 第1項 に規定する措置を講じるものとして、同条第2項の規定に基づき、受注者を指名した場合には、受注者はこれに従うものとする。 | 監督員が、労働安全衛生法(昭和47年6月8日 法律第57号)第30条 第1項 に規定する措置を講じるものとし、同条 第2項 の規定に基づき、受注者を指名した場合には、受注者はこれに従うものとする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 34 | 15 | | 1 | 1 | 1 | 33 | 15 | | | 受注者は、工事中における安全の確保を全てに優先させ、労働安全衛生法(令和元年6月改正 法律第37号)等関連法令に基づく措置を常に講じておくものとする。特に、重機械の運転、電気設備等については、関係法令に基づいて適切な措置を講じておかなければならない。 | 受注者は、工事中における安全の確保を全てに優先させ、労働安全衛生法(昭和47年6月8日 法律第57号)等関連法令に基づく措置を常に講じておくものとする。特に、重機械の運転、電気設備等については、関係法令に基づいて適切な措置を講じておかなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 35 | | | 1 | 1 | 1 | 34 | | | | 爆発及び火災の防止 | 爆発及び火災の防止 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 36 | | | 1 | 1 | 1 | 35 | | | | 後片付け | 後片付け | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 37 | | | 1 | 1 | 1 | 36 | | | | 事故報告書 | 事故報告書 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 38 | | | 1 | 1 | 1 | 37 | | | | 環境対策 | 環境対策 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 38 | 6 | (1) | 1 | 1 | 1 | 37 | 6 | (1) | | 受注者は、工事の施工に当たり表1-1-1 に示す建設機械を使用する場合には、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成29年5月改正 法律第41号)」に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付 設省経機発第249号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(最終改正平成24年3月23日付 国土交通省告示第318号)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(最終改正平成23年7月13日付 国総環リ第1号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械(以下「排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。 (以下、省略) | 受注者は、工事の施工に当たり表1-1-1 に示す建設機械を使用する場合には、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年5月25日 法律第51号)」に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付建設省経機発第249号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(平成18年3月17日付 国土交通省告示第348号)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日付 国土交通大臣官房技術審議官通達 国総施第215号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械(以下「排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。 (以下、省略) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|--------------------|---|-----|--|---|---|---|--------------------|-----|------|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 38 | 6 | (2) | 受注者は、トンネル坑内作業において表1-1-2に示す建設機械を使用する場合には、2011年以降の排出ガス基準に適合するものとして、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則」(令和元年6月改正 経済産業省・国土交通省・環境省令第1号)第16条第1項第2号もしくは第20条第1項第2号に定める表示が付された特定特殊自動車、または「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(最終改訂平成23年7月13日付国総環リ第1号)に基づき指定されたトンネル工専用排出ガス対策型建設機械(以下「トンネル工専用排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。(以下、省略) | 1 | 1 | 1 | 37 | 6 | (2) | 受注者は、トンネル坑内作業において表1-1-2に示す建設機械を使用する場合には、2011年以降の排出ガス基準に適合するものとして、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則」(平成28年11月11日 経済産業省・国土交通省・環境省令第2号)第16条第1項第2号もしくは第20条第1項第2号に定める表示が付された特定特殊自動車、または「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日付け建設省経機発第249号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(最終改訂平成23年7月13日付国総環リ第1号)に基づき指定されたトンネル工専用排出ガス対策型建設機械(以下「トンネル工専用排出ガス対策型建設機械等」という。)を使用しなければならない。(以下、省略) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 38 | 8 | | 受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針(建設大臣官房技術参事官通達 昭和62年3月30日改正)によって低騒音型・低振動型建設機械を設計図書で使用を義務付けている場合には、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示、平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用しなければならない。(以下、省略) | 1 | 1 | 1 | 37 | 8 | | 受注者は、建設工事に伴う騒音振動対策技術指針(建設大臣官房技術参事官通達 建設省機発第54号 昭和51年3月2日)によって低騒音型・低振動型建設機械を設計図書で使用を義務付けている場合には、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(平成9年 建設省告示第1536号)に基づき指定された建設機械を使用しなければならない。(以下、省略) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 38 | 9 | | 受注者は、資材(材料及び機材を含む)、工法、建設機械または目的物の使用に当たっては、環境物品等(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成27年9月改正 法律第66号「グリーン購入法」という。))第2条に規定する環境物品等をいう。)の使用を積極的に推進するものとする。 | 1 | 1 | 1 | 37 | 9 | | 受注者は、資材(材料及び機材を含む)、工法、建設機械または目的物の使用に当たっては、環境物品等(国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年5月31日法律第66号「グリーン購入法」という。))第2条に規定する環境物品等をいう。)の使用を積極的に推進するものとする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 39 | | | 文化財の保護 | 1 | 1 | 1 | 38 | | | 文化財の保護 | 軽微な修正(番号) |
| 1 | 1 | 1 | 40 | | | 交通安全管理 | 1 | 1 | 1 | 39 | | | 交通安全管理 | 軽微な修正(番号) |
| 1 | 1 | 1 | 40 | 3 | | 受注者は、ダンプトラック等の大型輸送機械で大量の土砂、工専用資材等の輸送をとまなう工事は、事前に関係機関と打合せのうえ、交通安全等輸送に関する必要な事項の計画を立て、施工計画書に記載しなければならない。なお、受注者は、ダンプトラックを使用する場合、「新潟県建設生産システム合理化指導要綱(令和2年4月1日)」に従うものとする。 | 1 | 1 | 1 | 39 | 3 | | 受注者は、ダンプトラック等の大型輸送機械で大量の土砂、工専用資材等の輸送をとまなう工事においては、事前に関係機関と打合せのうえ、交通安全等輸送に関する必要な事項の計画を立て、施工計画書に記載しなければならない。なお、受注者は、ダンプトラックを使用する場合、「新潟県建設生産システム合理化指導要綱(平成31年4月1日)」に従うものとする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|----|-----|---|---|---|----|----|-----|------|-----|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 1 | 1 | 1 | 40 | 4 | | 1 | 1 | 1 | 39 | 4 | | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 40 | 12 | | 1 | 1 | 1 | 39 | 12 | | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 41 | | | 1 | 1 | 1 | 40 | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 42 | | | 1 | 1 | 1 | 41 | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (1) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (1) | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (2) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (2) | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (3) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (3) | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (4) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (4) | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|------|-------------------------------------|---|---|---|----|-----|------|---------------------------------------|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (5) | 労働安全衛生法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (5) | 労働安全衛生法(昭和47年6月8日 法律第57号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (6) | 作業環境測定法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (6) | 作業環境測定法(昭和50年5月1日 法律第28号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (7) | じん肺法(平成30年7月改正 法律第71号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (7) | じん肺法(昭和35年3月31日 法律第30号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (8) | 雇用保険法(令和2年3月改正 法律第14号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (8) | 雇用保険法(昭和49年12月28日 法律第116号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (9) | 労働者災害補償保険法(令和2年6月改正 法律第40号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (9) | 労働者災害補償保険法(昭和22年4月7日 法律第50号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (10) | 健康保険法(令和2年3月改正 法律第8号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (10) | 健康保険法(大正11年4月11日 法律第70号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (11) | 中小企業退職金共済法(令和2年6月改正 法律第40号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (11) | 中小企業退職金共済法(昭和34年5月9日 法律第160号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (12) | 建設労働者の雇用の改善等に関する法律(令和2年3月改正 法律第14号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (12) | 建設労働者の雇用の改善等に関する法律(昭和51年5月27日 法律第33号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (13) | 出入国管理及び難民認定法(令和元年12月改正 法律第63号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (13) | 出入国管理及び難民認定法(昭和26年10月4日 政令第319号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (14) | 道路法(令和2年5月改正 法律第31号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (14) | 道路法(昭和27年6月10日 法律第180号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (15) | 道路交通法(令和2年6月改正 法律第42号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (15) | 道路交通法(昭和35年6月25日 法律第105号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (16) | 道路運送法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (16) | 道路運送法(昭和26年6月1日 法律第183号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (17) | 道路運送車両法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (17) | 道路運送車両法(昭和26年6月1日 法律第185号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (18) | 砂防法(平成25年11月改正 法律第76号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (18) | 砂防法(明治30年3月30日 法律第29号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (19) | 地すべり等防止法(平成29年6月改正 法律第45号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (19) | 地すべり等防止法(昭和33年3月31日 法律第30号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (20) | 河川法(平成29年6月改正 法律第45号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (20) | 河川法(昭和39年7月10日 法律第167号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|------|-------------------------------|---|---|---|----|-----|------|--------------------------------|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (21) | 海岸法(平成30年12月改正 法律第95号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (21) | 海岸法(昭和31年5月12日 法律第101号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (22) | 港湾法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (22) | 港湾法(昭和25年5月31日 法律第218号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (23) | 港則法(平成28年5月改正 法律第42号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (23) | 港則法(昭和23年7月15日 法律第174号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (24) | 漁港漁場整備法(平成30年12月改正 法律第95号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (24) | 漁港漁場整備法(昭和25年5月2日 法律第137号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (25) | 下水道法(平成27年5月改正 法律第22号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (25) | 下水道法(昭和33年4月24日 法律第147号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (26) | 航空法(令和元年6月改正 法律第38号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (26) | 航空法(昭和27年7月15日 法律第231号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (27) | 公有水面埋立法(平成26年6月改正 法律第51号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (27) | 公有水面埋立法(大正10年4月9日 法律第57号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (28) | 軌道法(平成29年6月改正 法律第45号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (28) | 軌道法(大正10年4月14日 法律第76号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (29) | 森林法(平成30年6月改正 法律第35号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (29) | 森林法(昭和26年6月26日 法律第249号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (30) | 環境基本法(平成30年6月改正 法律第50号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (30) | 環境基本法(平成5年11月19日 法律第91号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (31) | 火薬類取締法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (31) | 火薬類取締法(昭和25年5月4日 法律第149号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (32) | 大気汚染防止法(平成29年6月改正 法律第45号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (32) | 大気汚染防止法(昭和43年6月10日 法律第97号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (33) | 騒音規制法(平成26年6月改正 法律第72号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (33) | 騒音規制法(昭和43年6月10日 法律第98号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (34) | 水質汚濁防止法(平成29年6月改正 法律第45号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (34) | 水質汚濁防止法(昭和45年12月25日 法律第138号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (35) | 湖沼水質保全特別措置法(平成26年6月改正 法律第72号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (35) | 湖沼水質保全特別措置法(昭和59年7月27日 法律第61号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (36) | 振動規制法(平成26年6月改正 法律第72号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (36) | 振動規制法(昭和51年6月10日 法律第64号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|---|----|---|---|---|---|---|----|---|------|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (37) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (37) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 新条文 | | | | | | | 現行条文 | |
| | | | | | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(令和元年6月改正 法律第37号) | | | | | | | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年12月25日 法律第137号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (38) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (38) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 文化財保護法(平成30年6月改正 法律第42号) | | | | | | | 文化財保護法(昭和25年5月30日 法律第214号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (39) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (39) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 砂利採取法(平成27年6月改正 法律第50号) | | | | | | | 砂利採取法(昭和43年5月30日 法律第74号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (40) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (40) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 電気事業法(平成30年6月改正 法律第41号) | | | | | | | 電気事業法(昭和39年7月11日 法律第170号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (41) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (41) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 消防法(平成30年6月改正 法律第67号) | | | | | | | 消防法(昭和23年7月24日 法律第186号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (42) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (42) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 測量法(令和元年6月改正 法律第37号) | | | | | | | 測量法(昭和24年6月3日 法律第188号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (43) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (43) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 建築基準法(令和元年6月改正 法律第37号) | | | | | | | 建築基準法(昭和25年5月24日 法律第201号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (44) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (44) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 都市公園法(平成29年5月改正 法律第26号) | | | | | | | 都市公園法(昭和41年4月20日 法律79号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (45) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (45) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 建設工事に係る資材と再資源化等に関する法律(平成26年6月改正 法律第55号) | | | | | | | 建設工事に係る資材と再資源化等に関する法律(平成12年5月31日 法律第104号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (46) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (46) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 土壌汚染対策法(平成29年6月改正 法律第45号) | | | | | | | 土壌汚染対策法(平成14年5月29日 法律第53号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (47) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (47) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 駐車場法(平成29年5月改正 法律第26号) | | | | | | | 駐車場法(昭和32年5月16日 法律第106号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (48) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (48) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 海上交通安全法(平成28年5月改正 法律第42号) | | | | | | | 海上交通安全法(昭和47年7月3日 法律第115号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (49) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (49) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 海上衝突予防法(平成15年6月改正 法律第63号) | | | | | | | 海上衝突予防法(昭和52年6月1日 法律第62号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (50) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (50) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(令和元年5月改正 法律第18号) | | | | | | | 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(昭和45年12月25日 法律第136号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (51) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (51) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 船員法(平成30年6月改正 法律第41号) | | | | | | | 船員法(昭和22年9月1日 法律第100号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (52) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (52) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | |
| | | | | | 船舶職員及び小型船舶操縦法(平成30年6月改正 法律第59号) | | | | | | | 船舶職員及び小型船舶操縦法(昭和26年4月16日 法律第149号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|------|---|---|---|---|----|-----|------|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (53) | 船舶安全法(平成29年5月改正 法律第41号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (53) | 船舶安全法(昭和8年3月15日 法律第11号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (54) | 自然環境保護法(平成31年4月改正 法律第20号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (54) | 自然環境保護法(昭和47年6月22日 法律第85号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (55) | 自然公園法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (55) | 自然公園法(昭和32年6月1日 法律第38号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (56) | 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (56) | 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(平成12年11月27日 法律第127号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (57) | 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成27年9月改正 法律第66号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (57) | 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年5月31日 法律第100号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (58) | 河川法施行法抄(平成11年12月改正 法律第160号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (58) | 河川法施行法(昭和39年7月10日 法律第168号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (59) | 技術士法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (59) | 技術士法(昭和58年4月27日 法律第25号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (60) | 漁業法(令和元年5月改正 法律第1号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (60) | 漁業法(昭和42年12月15日 法律第264号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (61) | 空港法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (61) | 空港法(昭和31年4月20日 法律第80号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (62) | 計量法(平成26年6月改正 法律第69号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (62) | 計量法(平成4年5月20日 法律第51号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (63) | 厚生年金保険法(平成30年7月改正 法律第71号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (63) | 厚生年金保険法(昭和29年5月19日 法律第105号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (64) | 航路標識法(平成28年5月改正 法律第42号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (64) | 航路標識法(昭和24年5月24日 法律第99号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (65) | 資源の有効な利用の促進に関する法律(平成26年6月改正 法律第69号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (65) | 資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年4月26日 法律第485号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (66) | 最低賃金法(平成24年4月改正 法律第27号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (66) | 最低賃金法(昭和34年4月15日 法律第137号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (67) | 職業安定法(令和元年6月改正 法律第37号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (67) | 職業安定法(昭和23年11月30日 法律第141号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (68) | 所得税法(令和元年6月改正 法律第28号) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (68) | 所得税法(昭和40年3月31日 法律第33号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|------|---|---|---|----|---|------|--|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (69) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (69) | 水産資源保護法(平成30年12月改正 法律第95号) | 水産資源保護法(昭和26年12月27日 法律第313号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (70) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (70) | 船員保険法(令和元年5月改正 法律第9号) | 船員保険法(昭和14年6月6日 法律第73号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (71) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (71) | 著作権法(平成30年7月改正 法律第72号) | 著作権法(昭和45年5月6日 法律第48号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (72) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (72) | 電波法(令和元年6月改正 法律第23号) | 電波法(平成25年5月2日 法律第131号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (73) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (73) | 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法(令和元年6月改正 法律第20号) | 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法(昭和42年8月2日 法律第131号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (74) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (74) | 労働保険の保険料の徴収等に関する法律(平成29年6月改正 法律第45号) | 労働保険の保険料の徴収等に関する法律(昭和44年12月9日 法律第84号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (75) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (75) | 農薬取締法(平成30年6月改正 法律第53号) | 農薬取締法(昭和23年7月1日 法律第82号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (76) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (76) | 毒物及び劇物取締法(平成30年6月改正 法律第66号) | 毒物及び劇物取締法(平成25年12月28日 法律第303号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (77) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (77) | 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成29年5月改正 法律第41号) | 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年5月25日 法律第51号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (78) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (78) | 公共工事の品質確保の促進に関する法律(令和元年6月改正 法律第35号) | 公共工事の品質確保の促進に関する法律(平成17年3月31日 法律第18号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (79) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (79) | 警備業法(令和元年6月改正 法律第37号) | 警備法(昭和47年7月5日 法律第117号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (80) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (80) | 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(令和元年6月改正 法律第37号) | 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律(平成11年5月14日 法律第42号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 42 | 1 | (81) | 1 | 1 | 1 | 41 | 1 | (81) | 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成30年6月改正 法律第67号) | 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(平成18年6月21日 法律第91号) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 43 | | | 1 | 1 | 1 | 42 | | | 官公庁等への手続等 | 官公庁等への手続等 | 軽微な修正(番号) |
| 1 | 1 | 1 | 44 | | | 1 | 1 | 1 | 43 | | | 施工時期及び施工時間の変更 | 施工時期及び施工時間の変更 | 軽微な修正(番号) |
| 1 | 1 | 1 | 45 | | | 1 | 1 | 1 | 44 | | | 工事測量 | 工事測量 | 軽微な修正(番号) |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|--------------------|-------------------|-----|--|---|---|---|--------------------|-------------------|------|--|-----------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 1 | 1 | 1 | 46 | | | 提出書類 | 1 | 1 | 1 | 45 | | | 提出書類 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 47 | | | 不可抗力による損害 | 1 | 1 | 1 | 46 | | | 不可抗力による損害 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 47 | 3 | | 約款 第30条 第2項 に規定する「乙が善良な管理者の注意義務を怠ったことに基づくもの」とは、1-1-1- 34 及び約款 第27条 に規定する予防措置を行ったと認められないもの及び災害の一因が施工不良等受注者の責とされるものをいう。 | 1 | 1 | 1 | 46 | 3 | | 約款 第30条 第2項 に規定する「乙が善良な管理者の注意義務を怠ったことに基づくもの」とは、1-1-1- 33 及び約款 第27条 に規定する予防措置を行ったと認められないもの及び災害の一因が施工不良等受注者の責とされるものをいう。 | 表記修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 48 | | | 特許権等 | 1 | 1 | 1 | 47 | | | 特許権等 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 48 | 3 | | 発注者が、引渡しを受けた契約の目的物が著作権法（ 平成30年7月改正 法律第72号 第2条第1項 第1号）に規定される著作物に該当する場合には、当該著作物の著作権は発注者に帰属するものとする。なお、前項の規定により出願及び権利等が発注者に帰属する著作物については、発注者はこれを自由に加除または編集して利用することができる。 | 1 | 1 | 1 | 47 | 3 | | 発注者が、引渡しを受けた契約の目的物が著作権法（ 昭和45年5月6日 法律第48号 第2条第1項 第1号）に規定される著作物に該当する場合には、当該著作物の著作権は発注者に帰属するものとする。なお、前項の規定により出願及び権利等が発注者に帰属する著作物については、発注者はこれを自由に加除または編集して利用することができる。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 1 | 1 | 1 | 49 | | | 保険の付保及び事故の補償 | 1 | 1 | 1 | 48 | | | 保険の付保及び事故の補償 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 50 | | | 臨機の措置 | 1 | 1 | 1 | 49 | | | 臨機の措置 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 1 | 1 | 51 | | | 公共工事等における新技術活用の促進 | 1 | 1 | 1 | 50 | | | 公共工事等における新技術活用の促進 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 2 | | | | 第2章 | 土工 | 1 | 2 | | | | 第2章 | 土工 | |
| 1 | 2 | 3 | | | 第3節 | 治山土工 | 1 | 2 | 3 | | | 第3節 | 治山土工 | |
| 1 | 2 | 3 | 1 | | | 一般事項 | 1 | 2 | 3 | 1 | | | 一般事項 | |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 4 | | 受注者は、工事施工中については、滞水を生じないように排水状態を維持しなければならない。 | 1 | 2 | 3 | 1 | 3 | | 受注者は、工事施工中については、滞水を生じないように排水状態を維持しなければならない。 | 軽微な修正（番号） |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 5 | | 受注者は、建設発生土については、第1編 1-1-1- 21 建設副産物 の規定により適切に処理しなければならない。 | 1 | 2 | 3 | 1 | 4 | | 受注者は、建設発生土については、第1編 1-1-1- 20 建設副産物 の規定により適切に処理しなければならない。 | 軽微な修正（番号） 表記修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|-----|----------------|---|---|-----------|---|-----|----------------|--|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 6 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 5 | | | 受注者は、建設発生土受入れ地及び建設廃棄物処理地の位置及び建設発生土の内容等については、設計図書及び監督員の指示に従わなければならない。なお、受注者は、施工上やむを得ず指定された場所以外に建設発生土、または建設廃棄物を処分する場合には、事前に監督員と協議しなければならない。 | 受注者は、建設発生土受入れ地及び建設廃棄物処理地の位置及び建設発生土の内容等については、設計図書及び監督員の指示に従わなければならない。なお、受注者は、施工上やむを得ず指定された場所以外に建設発生土、または建設廃棄物を処分する場合には、事前に監督員と協議しなければならない。 | 軽微な修正（番号） | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 7 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 6 | | | 受注者は、建設発生土処理に当たり、第1編 1-1-1-5 施工計画書 第1項の施工計画書の記載内容に加えて、設計図書に基づき以下の事項を施工計画書に記載しなければならない。 | 受注者は、建設発生土処理に当たり、第1編 1-1-1-5 施工計画書 第1項の施工計画書の記載内容に加えて、設計図書に基づき以下の事項を施工計画書に記載しなければならない。 | 軽微な修正（番号） | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 8 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 7 | | | 受注者は、建設発生土の受入れ地への搬入に先立ち、指定された建設発生土の受入れ地について、地形を実測し、資料を監督員に提出しなければならない。ただし、受注者は、実測困難な場合等では、これに代わる資料により監督員の承諾を得なければならない。 | 受注者は、建設発生土の受入れ地への搬入に先立ち、指定された建設発生土の受入れ地について、地形を実測し、資料を監督員に提出しなければならない。ただし、受注者は、実測困難な場合等では、これに代わる資料により監督員の承諾を得なければならない。 | 軽微な修正（番号） | | | | |
| 1 | 2 | 3 | 1 | 9 | | 1 | 2 | 3 | 1 | 8 | | | 建設発生土受入れ地については、受注者は、建設発生土受入れ地ごとの特定条件に応じて施工しなければならない。 | 建設発生土受入れ地については、受注者は、建設発生土受入れ地ごとの特定条件に応じて施工しなければならない。 | 軽微な修正（番号） | | | | |
| 1 | 2 | 4 | | | 第4節 | 1 | 2 | 4 | | | 第4節 | 林道土工 | 1 | 2 | 4 | | 第4節 | 林道土工 | |
| 1 | 2 | 4 | 1 | | | 1 | 2 | 4 | 1 | | | 一般事項 | 1 | 2 | 4 | 1 | | 一般事項 | |
| 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | | 1 | 2 | 4 | 1 | 3 | | | 受注者は、盛土と橋台や横断構造物との取付け部である裏込めや埋戻し部分は、供用開始後に構造物との間の路面の連続性を損なわないように、適切な材料を用いて入念な締固めと排水工の施工を行わなければならない。なお、構造物取付け部の範囲は、「道路橋示方書・同解説（IV 下部構造編）7.9 橋台背面アプローチ部」（日本道路協会 平成29年11月）及び「道路土工－盛土工指針 4-10 盛土と他の構造物との取付け部の構造」（日本道路協会 平成22年4月）を参考とする。 | 受注者は、盛土と橋台や横断構造物との取付け部である裏込めや埋戻し部分については、供用開始後に構造物との間の路面の連続性を損なわないように、適切な材料を用いて入念な締固めと排水工の施工を行わなければならない。なお、構造物取付け部の範囲は、「道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 7.9 橋台背面アプローチ部」（日本道路協会 平成29年11月）及び「道路土工－盛土工指針 4-10 盛土と他の構造物との取付け部の構造」（日本道路協会 平成22年4月）を参考とする。 | 表記修正（括弧） | | | | |
| 1 | 2 | 4 | 1 | 8 | | 1 | 2 | 4 | 1 | 8 | | | 受注者は、建設発生土については、第1編 1-1-1-21 建設副産物の規定により、適切に処理しなければならない。 | 受注者は、建設発生土については、第1編 1-1-1-20 建設副産物の規定により、適切に処理しなければならない。 | 表記修正（番号） | | | | |
| 1 | 3 | | | | 第3章 | 1 | 3 | | | | 第3章 | 無筋・鉄筋コンクリート | 1 | 3 | | | 第3章 | 無筋・鉄筋コンクリート | |
| 1 | 3 | 3 | | | 第3節 | 1 | 3 | 3 | | | 第3節 | レディーミクストコンクリート | 1 | 3 | 3 | | 第3節 | レディーミクストコンクリート | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | | 旧 | | | | | | | 改訂理由 |
|---|---|---|---|---|-----|--|---|---|---|---|---|-----|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 新条文 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 現行条文 | |
| 1 | 3 | 3 | 2 | | | 工場の選定 | 1 | 3 | 3 | 2 | | | 工場の選定 | |
| 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | (1) | JISマーク表示認証製品を製造している工場(産業標準化法の一部を改正する法律(平成30年5月30日公布 法律第33号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマークを表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定しなければならない。 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | (1) | JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律第95号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマークを表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定しなければならない。 | JIS名称変更に伴う修正 |
| 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | (2) | JISマーク表示認証製品を製造している工場(産業標準化法の一部を改正する法律(平成30年5月30日公布 法律第33号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)が工事現場近くに見当たらない場合には、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督員の確認を得なければならない。 (以下、省略) | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | (2) | JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律第95号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)が工事現場近くに見当たらない場合には、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえ、その資料により監督員の確認を得なければならない。 (以下、省略) | JIS名称変更に伴う修正 |
| 1 | 3 | 7 | | | 第7節 | 鉄筋工 | 1 | 3 | 7 | | | 第7節 | 鉄筋工 | |
| 1 | 3 | 7 | 5 | | | 継手 | 1 | 3 | 7 | 5 | | | 継手 | |
| 1 | 3 | 7 | 5 | 2 | | 受注者は、鉄筋の重ね継手を行う場合は、設計図書に示す長さを重ね合わせて、直径0.8mm以上の焼なまし鉄線で数ヶ所緊結しなければならない。なお、エポキシ系樹脂塗装鉄筋の重ね継手長さは、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針【改訂版】」(H15.11 土木学会)により、コンクリートの付着強度を無塗装鉄筋の85%として求めてよい。 | 1 | 3 | 7 | 5 | 2 | | 受注者は、鉄筋の重ね継手を行う場合には、設計図書に示す長さを重ね合わせて、直径0.8mm以上の焼なまし鉄線で数ヶ所緊結しなければならない。なお、エポキシ系樹脂塗装鉄筋の重ね継手長さは、「エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針【改訂版】」H15.11 土木学会により、コンクリートの付着強度を無塗装鉄筋の85%として求めてよい。 | 表記修正（鍵括弧、括弧） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | | 旧 | | | | | | | 改訂理由 | | | | |
|---|---|---|---|---|-----|--|--------------|---------------|--------|-----------|---------|-----|---|------------------|---------------|--------|-----------|---------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 新条文 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 現行条文 | | | | | |
| 2 | | | | | 第2編 | 材料編 | 2 | | | | | 第2編 | 材料編 | | | | | |
| 2 | 2 | | | | 第2章 | 林業土木工事材料 | 2 | 2 | | | | 第2章 | 林業土木工事材料 | | | | | |
| 2 | 2 | 3 | | | 第3節 | 骨材 | 2 | 2 | 3 | | | 第3節 | 骨材 | | | | | |
| 2 | 2 | 3 | 3 | | | アスファルト舗装用骨材 | 2 | 2 | 3 | 3 | | | アスファルト舗装用骨材 | | | | | |
| 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | | 路盤材に用いる鉄鋼スラグの規格は、表2-2-9の規格に適合するものとする。 | 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | | 路盤材に用いる鉄鋼スラグの規格は、表2-2-9の規格に適合するものとする。 | | | | | |
| 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | 表 | 表2-2-9 鉄鋼スラグの規格 | 2 | 2 | 3 | 3 | 5 | 表 | 表2-2-9 鉄鋼スラグの規格 | 諸基準類の改訂に伴う修正（図表） | | | | |
| | | | | | 呼び名 | 修正CBR (%) | 一軸圧縮強さ (MPa) | 単位容積質量 (kg/L) | 呈色判定試験 | 水浸膨張比 (%) | エージング期間 | 呼び名 | 修正CBR (%) | 一軸圧縮強さ (MPa) | 単位容積質量 (kg/l) | 呈色判定試験 | 水浸膨張比 (%) | エージング期間 |
| | | | | | MS | 80以上 | — | 1.5以上 | 呈色なし | 1.0以下 | 6ヵ月以上 | MS | 80以上 | — | 1.5以上 | 呈色なし | 1.5以下 | 6ヵ月以上 |
| | | | | | HMS | 80以上 | 1.2以上 | 1.5以上 | 呈色なし | 1.0以下 | 6ヵ月以上 | HMS | 80以上 | 1.2以上 | 1.5以上 | 呈色なし | 1.5以下 | 6ヵ月以上 |
| | | | | | CS | 30以上 | — | — | 呈色なし | 1.0以下 | 6ヵ月以上 | CS | 30以上 | — | — | 呈色なし | 1.5以下 | 6ヵ月以上 |
| | | | | | 試験法 | E001 | E003 | A023 | E002 | E004 | — | | | | | | | |
| 2 | 2 | 6 | | | 第6節 | セメント及び混和材料 | 2 | 2 | 6 | | | 第6節 | セメント及び混和材料 | | | | | |
| 2 | 2 | 6 | 1 | | | 一般事項 | 2 | 2 | 6 | 1 | | | 一般事項 | | | | | |
| 2 | 2 | 6 | 1 | 7 | | 受注者は、貯蔵中に前項に示す分離・変質等が生じた混和剤やその他異常を認めた混和剤については、これらを用いる前に試験を行い、性能が低下していないことを確かめなければならない。ただし、保管期間内が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵した混和剤を使用してはならない。 | 2 | 2 | 6 | 1 | 7 | | 受注者は、貯蔵中に前項に示す分離・変質等が生じた混和剤やその他異常を認めた混和剤については、これらを用いる前に試験を行い、性能が低下していないことを確かめなければならない。ただし、保管期間内が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵したセメントを使用してはならない。 | 誤記修正 | | | | |
| 2 | 2 | 6 | 1 | 9 | | 受注者は、貯蔵中に吸湿により固結した混和材、その他異常を認めた混和材の使用に当たっては、これらを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。ただし、保管期間内が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵した混和材を使用してはならない。 | 2 | 2 | 6 | 1 | 9 | | 受注者は、貯蔵中に吸湿により固結した混和材、その他異常を認めた混和材の使用に当たっては、これらを用いる前に試験を行い、その品質を確かめなければならない。ただし、保管期間内が長期にわたると品質が変動する可能性があるため、長期間貯蔵したセメントを使用してはならない。 | 誤記修正 | | | | |
| 2 | 2 | 8 | | | 第8節 | 瀝青材料 | 2 | 2 | 8 | | | 第8節 | 瀝青材料 | | | | | |
| 2 | 2 | 8 | 3 | | | 再生用添加剤 | 2 | 2 | 8 | 3 | | | 再生用添加剤 | | | | | |
| 2 | 2 | 8 | 3 | 0 | | 再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令(令和元年4月改正 政令第19号)に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。 | 2 | 2 | 8 | 3 | 0 | | 再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令(昭和47年8月9日 政令第318号)に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---------------|------|-----|-----|------|--------|------|------|---|---|------|--|-------------------|---------------|--|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----------------|--|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|---|--|--|--|--|--|--------|------|------|---|---|---|---|---|-----|--|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|--|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|--|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 12 | | | 第12節 | 2 | 2 | 12 | | | 第12節 | 道路標識及び区画線 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 12 | 1 | | | 2 | 2 | 12 | 1 | | | 道路標識 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 12 | 1 | 2 | | 2 | 2 | 12 | 1 | 2 | | 支柱 JIS G 3452(配管用炭素鋼鋼管) JIS G 3444(一般構造用炭素鋼鋼管) JIS G 3192(熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差) JIS G 3101(一般構造用圧延鋼材) <u>JIS G 3106 (溶接構造用圧延鋼材)</u> <u>JIS G 3136 (建築構造用圧延鋼材)</u> | 諸基準類の改訂に伴う修正 (追加) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 12 | 1 | 4 | | 2 | 2 | 12 | 1 | 4 | | 反射シート 標示板に使用する反射シートは、封入レンズ型反射シート、またはカプセルレンズ型(カプセルプリズム型)反射シート、または広角プリズム型反射シートとし、その性能は、表2-2-29、表2-2-30、表2-2-31に示す規格以上のものとする。また、反射シートは、屋外にさらされても、著しい色の变化、ひび割れ、剥れが生じないものとする。なお、表2-2-29、表2-2-30、表2-2-31に示した品質以外の反射シートを用いる場合には、受注者は監督員の確認を受けなければならない。 | 誤記修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 12 | 1 | 4 | 表 | 2 | 2 | 12 | 1 | 4 | 表 | 表2-2-29 封入レンズ型反射シートの反射性能 | 諸基準類の改訂に伴う修正 (図表) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">封入レンズ型</th> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>緑</th> <th>青</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12' (0.2°)</td> <td rowspan="3"></td> <td>5°</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>9.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>6.0</td> <td>3.5</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>10</td> <td>7.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20' (0.33°)</td> <td rowspan="3"></td> <td>5°</td> <td>50</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>7.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>9.0</td> <td>6.0</td> <td>1.8</td> <td>1.2</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2°</td> <td rowspan="3"></td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 封入レンズ型 | 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | 12' (0.2°) | | 5° | 70 | 50 | 15 | 9.0 | 4.0 | 30° | 30 | 22 | 6.0 | 3.5 | 1.7 | 40° | 10 | 7.0 | 2.0 | 1.5 | 0.5 | 20' (0.33°) | | 5° | 50 | 35 | 10 | 7.0 | 2.0 | 30° | 24 | 16 | 4.0 | 3.0 | 1.0 | 40° | 9.0 | 6.0 | 1.8 | 1.2 | 0.4 | 2° | | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.2 | 30° | 2.5 | 1.5 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | 40° | 1.5 | 1.0 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">封入レンズ型</th> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>緑</th> <th>青</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12'</td> <td rowspan="3"></td> <td>5°</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>9.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>6.0</td> <td>3.5</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>10</td> <td>7.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20'</td> <td rowspan="3"></td> <td>5°</td> <td>50</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>7.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>9.0</td> <td>6.0</td> <td>1.8</td> <td>1.2</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2°</td> <td rowspan="3"></td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table> | | | | | | 封入レンズ型 | 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | 12' | | 5° | 70 | 50 | 15 | 9.0 | 4.0 | 30° | 30 | 22 | 6.0 | 3.5 | 1.7 | 40° | 10 | 7.0 | 2.0 | 1.5 | 0.5 | 20' | | 5° | 50 | 35 | 10 | 7.0 | 2.0 | 30° | 24 | 16 | 4.0 | 3.0 | 1.0 | 40° | 9.0 | 6.0 | 1.8 | 1.2 | 0.4 | 2° | | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.2 | 30° | 2.5 | 1.5 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | 40° | 1.5 | 1.0 | 0.3 | 0.2 | 0.06 |
| 封入レンズ型 | 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | | 緑 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 12' (0.2°) | | 5° | 70 | 50 | 15 | 9.0 | 4.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30° | | | 30 | 22 | 6.0 | 3.5 | 1.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40° | | | 10 | 7.0 | 2.0 | 1.5 | 0.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20' (0.33°) | | 5° | 50 | 35 | 10 | 7.0 | 2.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 30° | 24 | 16 | 4.0 | 3.0 | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 40° | 9.0 | 6.0 | 1.8 | 1.2 | 0.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2° | | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 30° | 2.5 | 1.5 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 40° | 1.5 | 1.0 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 封入レンズ型 | 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 12' | | 5° | 70 | 50 | 15 | 9.0 | 4.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 30° | | | 30 | 22 | 6.0 | 3.5 | 1.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 40° | | | 10 | 7.0 | 2.0 | 1.5 | 0.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20' | | 5° | 50 | 35 | 10 | 7.0 | 2.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 30° | 24 | 16 | 4.0 | 3.0 | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 40° | 9.0 | 6.0 | 1.8 | 1.2 | 0.4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2° | | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 30° | 2.5 | 1.5 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 40° | 1.5 | 1.0 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | | 旧 | | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|------|-----|-----|-----|-------------|--|------|------|----|---|---|-----|---|-----------------------------------|---------------|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----------------|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|--|------|------|---|---|---|---|---|-----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 新条文 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 現行条文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | 12 | 1 | 4 | 表 | 表 2-2-30 カプセルレンズ型反射シートの反射性能 | 2 | 2 | 12 | 1 | 4 | 表 | 表 2-2-30 カプセルレンズ型反射シートの反射性能 | 諸基準類の改訂に伴う修正（図表） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>緑</th> <th>青</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>250</td> <td>170</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>110</td> <td>70</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>180</td> <td>122</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>100</td> <td>57</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>95</td> <td>54</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>40°</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>0.06</td> </tr> </tbody> </table> | 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | | 12' (0.2°) | 5° | 250 | 170 | 45 | 45 | 20 | 30° | 150 | 100 | 25 | 25 | 11 | 40° | 110 | 70 | 16 | 16 | 8.0 | 20' (0.33°) | 5° | 180 | 122 | 25 | 21 | 14 | 30° | 100 | 57 | 14 | 11 | 7.0 | 40° | 95 | 54 | 13 | 11 | 7.0 | 2° | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.3 | 30° | 2.5 | 1.5 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | 40° | 1.5 | 1.0 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>緑</th> <th>青</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12'</td> <td>5°</td> <td>250</td> <td>170</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20'</td> <td>5°</td> <td>180</td> <td>122</td> <td>25</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>100</td> <td>67</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>8.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.6</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>0.3</td> <td>0.1</td> </tr> </tbody> </table> | 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | 12' | 5° | 250 | 170 | 45 | 45 | 20 | 30° | 150 | 100 | 25 | 25 | 11 | 20' | 5° | 180 | 122 | 25 | 21 | 14 | 30° | 100 | 67 | 14 | 12 | 8.0 | 2° | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.3 | 30° | 2.5 | 1.8 | 0.4 | 0.3 | 0.1 |
| 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12' (0.2°) | 5° | 250 | 170 | 45 | 45 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30° | 150 | 100 | 25 | 25 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 40° | 110 | 70 | 16 | 16 | 8.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20' (0.33°) | 5° | 180 | 122 | 25 | 21 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30° | 100 | 57 | 14 | 11 | 7.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 40° | 95 | 54 | 13 | 11 | 7.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2° | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30° | 2.5 | 1.5 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 40° | 1.5 | 1.0 | 0.3 | 0.2 | 0.06 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 観測角° | 入射角° | 白 | 黄 | 赤 | 緑 | 青 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12' | 5° | 250 | 170 | 45 | 45 | 20 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30° | 150 | 100 | 25 | 25 | 11 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 20' | 5° | 180 | 122 | 25 | 21 | 14 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30° | 100 | 67 | 14 | 12 | 8.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2° | 5° | 5.0 | 3.0 | 0.8 | 0.6 | 0.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 30° | 2.5 | 1.8 | 0.4 | 0.3 | 0.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | | | | | 第3編 | 林業土木工事共通編 | 3 | | | | | | 第3編 | 林業土木工事共通編 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | | | | 第1章 | 一般施工 | 3 | 1 | | | | | 第1章 | 一般施工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | 3 | 1 | 2 | | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 2 | 1 | | | 受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合には、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合には、監督員と協議しなければならない。 | 3 | 1 | 2 | 1 | | | 受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合には、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合には、監督員と協議しなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 2 | 1 | | 基準類 6冊目 | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧(平成31年3月) | 3 | 1 | 2 | 1 | | | 基準類 6冊目 | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧(平成19年6月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 2 | 1 | | 基準類 13冊目 | 環境省 水質汚濁に係る環境基準について(平成31年3月) | 3 | 1 | 2 | 1 | | | 基準類 13冊目 | 環境省 水質汚濁に係る環境基準について(平成28年3月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 2 | 1 | | 基準類 32冊目 | 国土交通省 道路標識設置基準(令和元年10月) | 3 | 1 | 2 | 1 | | | 基準類 32冊目 | 日本道路協会 道路標識設置基準・同解説(昭和62年1月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 2 | 1 | | 基準類 42冊目 | 厚生労働省 手すり先行工法等に関するガイドライン(平成21年4月) | 3 | 1 | 2 | 1 | | | 基準類 42冊目 | 厚生労働省 手すり先行工法等に関するガイドライン(平成23年4月) | 誤記修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | | | 第3節 | 共通の工種 | 3 | 1 | 3 | | | | 第3節 | 共通の工種 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | 6 | | | 小型標識工 | 3 | 1 | 3 | 6 | | | | 小型標識工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------|--------------------------------|---|----|------|--|-----|-----|-----|----------|--------|--------------------------------|--|--------------|--------------------------------|---------------------|--------|--------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|-----|-----|-----|----------|--------|--------------------------------|-------------------|--------|--------------------------------|---------------------|--------|--------------------------------|--|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | 6 | 3 | | 受注者は、標示板基板表面をサンドペーパーや機械的に研磨(サンディング処理)しラッカーシンナーまたは、表面処理液(弱アルカリ性界面活性剤)で脱脂洗浄を施した後、乾燥を行い、反射シートを貼付けるのに最適な表面状態を保たなければならない。 | 3 | 1 | 3 | 6 | 3 | | 受注者は、標示板基板表面を機械的に研磨(サンディング処理)し、ラッカーシンナーまたは表面処理液(弱アルカリ性処理液)で脱脂洗浄を施した後、乾燥を行い、反射シートを貼付けるのに最適な表面状態を保たなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | 6 | 5 | | 受注者は、重ね貼り方式または、スクリーン印刷方式により、反射シートの貼付けを行わなければならない。 <u>印刷乾燥後は色むら・にじみ・ピンホールなどが無いことを確認しなければならない。また、必要がある場合はインク保護などを目的とした、クリアーやラミネート加工を行うものとする。</u> | 3 | 1 | 3 | 6 | 5 | | 受注者は、重ね貼り方式または、スクリーン印刷方式により、反射シートの貼付けを行わなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | 6 | 8 | | 受注者は、2枚以上の反射シートを接合して使用する場合には、 <u>10mm以上</u> 重ね合わせなければならない。 | 3 | 1 | 3 | 6 | 8 | | 受注者は、2枚以上の反射シートを接合して使用する場合には、 <u>5～10mm程度</u> 重ね合わせなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 3 | 6 | 15 | | 受注者は、支柱用鋼管及び取付鋼板などに溶融亜鉛めっきをする場合には、その付着量をJIS H 8641(溶融亜鉛めっき)2種の(HDZ55)550g/m ² (片面の付着量)以上としなければならない。 | 3 | 1 | 3 | 6 | 15 | | 受注者は、支柱用鋼管及び取付鋼板などに溶融亜鉛めっきをする場合には、その付着量をJIS H 8641(溶融亜鉛めっき)2種の(HDZ55)550g/m ² (片面の付着量)以上としなければならない。 | 表記修正(送り仮名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 4 | | | 第4節 | 基礎工 | 3 | 1 | 4 | | | 第4節 | 基礎工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 4 | 4 | | | 既設杭工 | 3 | 1 | 4 | 4 | | | 既設杭工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 4 | 4 | 21 | (1) | 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の現場継手を溶接継手による場合については、アーク溶接継手とし、現場溶接に際しては、溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査及び記録を行う溶接管理技術者を常駐させるとともに、以下の規定による。 | 3 | 1 | 4 | 4 | 21 | (1) | 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の現場継手を溶接継手による場合については、アーク溶接継手とし、現場溶接に際しては、溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査及び記録を行う溶接 <u>施工</u> 管理技術者を常駐させるとともに、以下の規定による。 | 誤記修正(一部削除) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 4 | 4 | 21 | (7)表 | 表3-1-14 現場円周溶接部の目違いの許容値 | 3 | 1 | 4 | 4 | 21 | (7)表 | 表3-1-14 現場円周溶接部の目違いの許容値 | 誤記修正(図表) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>外 径</th> <th>許容量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700mm 未満</td> <td>2mm 以下</td> <td>上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を2mm×π以下とする。</td> </tr> <tr> <td>700mm 以上1016mm 以下</td> <td>3mm 以下</td> <td>上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を3mm×π以下とする。</td> </tr> <tr> <td>1016mm を超え2000mm 以下</td> <td>4mm 以下</td> <td>上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を4mm×π以下とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 外 径 | 許容量 | 摘 要 | 700mm 未満 | 2mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を2mm×π以下とする。 | 700mm 以上1016mm 以下 | 3mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を3mm×π以下とする。 | 1016mm を超え2000mm 以下 | 4mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を4mm×π以下とする。 | | | | | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>外 径</th> <th>許容量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>700mm 未満</td> <td>2mm 以下</td> <td>上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を2mm×π以下とする。</td> </tr> <tr> <td>700mm 以上1016mm 以下</td> <td>3mm 以下</td> <td>上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を3mm×π以下とする。</td> </tr> <tr> <td>1016mm を超え1524mm 以下</td> <td>4mm 以下</td> <td>上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を4mm×π以下とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 外 径 | 許容量 | 摘 要 | 700mm 未満 | 2mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を2mm×π以下とする。 | 700mm 以上1016mm 以下 | 3mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を3mm×π以下とする。 | 1016mm を超え1524mm 以下 | 4mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を4mm×π以下とする。 | |
| 外 径 | 許容量 | 摘 要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 700mm 未満 | 2mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を2mm×π以下とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 700mm 以上1016mm 以下 | 3mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を3mm×π以下とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1016mm を超え2000mm 以下 | 4mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を4mm×π以下とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 外 径 | 許容量 | 摘 要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 700mm 未満 | 2mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を2mm×π以下とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 700mm 以上1016mm 以下 | 3mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を3mm×π以下とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1016mm を超え1524mm 以下 | 4mm 以下 | 上杭と下杭の外周長の差で表し、その差を4mm×π以下とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 4 | 9 | | | 鋼管矢板基礎工 | 3 | 1 | 4 | 9 | | | 鋼管矢板基礎工 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|---|----|-----|--|---|---|---|---|-----|------|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 3 | 1 | 4 | 9 | 11 | (1) | 受注者は、鋼管矢板の現場継手を溶接継手による場合については、アーク溶接継手とし、現場溶接に際しては、溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査及び記録を行う溶接管理技術者を常駐させなければならない。 | 3 | 1 | 4 | 9 | 11 | (1) | 受注者は、鋼管矢板の現場継手を溶接継手による場合については、アーク溶接継手とし、現場溶接に際しては、溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査及び記録を行う溶接 施工 管理技術者を常駐させなければならない。 | 誤記修正（一部削除） |
| 3 | 1 | 7 | | | 第7節 | 一般舗装工 | 3 | 1 | 7 | | | 第7節 | 一般舗装工 | |
| 3 | 1 | 7 | 2 | | | 材料 | 3 | 1 | 7 | 2 | | | 材料 | |
| 3 | 1 | 7 | 2 | 3 | | 受注者は、舗設に先立って決定した配合の混合物について、混合所で試験練りを行い、設計図書に示す物性と照合し、異なる場合には、骨材粒度及びアスファルト量の修正を行わなければならない。 | 3 | 1 | 7 | 2 | 3 | | 受注者は、舗設に先だって決定した配合の混合物について、混合所で試験練りを行い、設計図書に示す物性と照合し、異なる場合には、骨材粒度及びアスファルト量の修正を行わなければならない。 | 軽微な修正 |
| 3 | 1 | 7 | 7 | | | アスファルト舗装工 | 3 | 1 | 7 | 7 | | | アスファルト舗装工 | |
| 3 | 1 | 7 | 7 | 3 | (2) | 受注者は、施工に先立って「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成31年3月）に示される「E013 安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 | 3 | 1 | 7 | 7 | 3 | (2) | 受注者は、施工に先だって「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成19年6月）に示される「E013 安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 3 | 1 | 7 | 7 | 3 | (4) | 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成31年3月）に示される「F007 突固め試験方法」により、セメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。 | 3 | 1 | 7 | 7 | 3 | (4) | 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成19年6月）に示される「F007 突固め試験方法」により、セメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 3 | 1 | 7 | 8 | | | コンクリート舗装工 | 3 | 1 | 7 | 8 | | | コンクリート舗装工 | |
| 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | (2) | 受注者は、施工に先立って「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成31年3月）に示される「E013 安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 | 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | (2) | 受注者は、施工に先立って「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成19年6月）に示される「E013 安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | (3) | 下層路盤、上層路盤に使用するセメント及び石灰安定処理に使用するセメント石灰安定処理混合物の品質規格は、設計図書に示す場合を除き、表3-1-27、表3-1-28の規格に適合するものとする。 (以下、省略) | 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | (3) | 下層路盤、上層路盤に使用するセメント及び石灰安定処理に使用するセメント石灰安定処理混合物の品質規格は、設計図書に示す場合を除き、表3-1-28、表3-1-28の規格に適合するものとする。 | 誤記修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|----|----|------|---|---|---|----|----|-----|------|---|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | (4) | 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会 平成31年3月)に示される「F007 突固め試験方法」により、セメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。 | 3 | 1 | 7 | 8 | 3 | (4) | 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会 平成19年6月)に示される「F007 突固め試験方法」により、セメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 3 | 1 | 10 | | | 第10節 | 構造物撤去工 | 3 | 1 | 10 | | | 第10節 | 構造物撤去工 | |
| 3 | 1 | 10 | 12 | | | 骨材再生工 | 3 | 1 | 10 | 12 | | | 骨材再生工 | |
| 3 | 1 | 10 | 12 | 1 | | 骨材再生工の施工については、設計図書に明示した場合を除き、第1編 1-1-1-21 建設副産物の規定によるものとする。 | 3 | 1 | 10 | 12 | 1 | | 骨材再生工の施工については、設計図書に明示した場合を除き、第1編 1-1-1-20 建設副産物の規定によるものとする。 | 表記修正（番号） |
| 3 | 1 | 10 | 13 | | | 運搬処理工 | 3 | 1 | 10 | 13 | | | 運搬処理工 | |
| 3 | 1 | 10 | 13 | 1 | | 工事の施工に伴い生じた工事現場発生品については、第1編 1-1-1-20 工事現場発生品の規定による。 | 3 | 1 | 10 | 13 | 1 | | 工事の施工に伴い生じた工事現場発生品については、第1編 1-1-1-19 工事現場発生品の規定による。 | 表記修正（番号） |
| 3 | 1 | 10 | 13 | 2 | | 工事の施工に伴い生じた建設副産物については、第1編 1-1-1-21 建設副産物の規定による。 | 3 | 1 | 10 | 13 | 2 | | 工事の施工に伴い生じた建設副産物については、第1編 1-1-1-20 建設副産物の規定による。 | 表記修正（番号） |
| 3 | 1 | 11 | | | 第11節 | 仮設工 | 3 | 1 | 11 | | | 第11節 | 仮設工 | |
| 3 | 1 | 11 | 1 | | | 一般事項 | 3 | 1 | 11 | 1 | | | 一般事項 | |
| 3 | 1 | 11 | 1 | 1 | | 本節は、仮設工として工事用道路工、仮橋・仮橋脚工、路面覆工、土留・仮締切工、治山仮締切工、水替工、地下水位低下工、仮水路工、残土受入れ施設工、作業ヤード整備工、電力設備工、コンクリート製造設備工、トンネル仮設備工、防塵対策工、汚濁防止工、防護施設工、除雪工、雪寒施設工、法面吹付工、足場工、 <u>作業構台工、ケーブルクレーン架設、モノレール</u> 、その他これらに類する工種について定める。 | 3 | 1 | 11 | 1 | 1 | | 本節は、仮設工として工事用道路工、仮橋・仮橋脚工、路面覆工、土留・仮締切工、治山仮締切工、水替工、地下水位低下工、仮水路工、残土受入れ施設工、作業ヤード整備工、電力設備工、コンクリート製造設備工、トンネル仮設備工、防塵対策工、汚濁防止工、防護施設工、除雪工、雪寒施設工、法面吹付工、足場工、その他これらに類する工種について定める。 | 追加修正（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 1 | 4 | | 受注者は、 <u>足場工、作業構台、架設通路については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」を適用し、転落防止措置等の設置、安全点検等を実施するものとする。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 2 | | | 工事用道路工 | 3 | 1 | 11 | 2 | | | 工事用道路工 | |
| 3 | 1 | 11 | 2 | 10 | | 受注者は、 <u>路面の施工に当たっては、路面水による洗掘防止に十分配慮しなければならない。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 5 | | | 土留・仮締切工 | 3 | 1 | 11 | 5 | | | 土留・仮締切工 | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|----|-----|---|---|----|----|----|-----|------|---|------|---|----|----|----|--|--|--|-------------------|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 3 | | 3 | 1 | 11 | 5 | 3 | | | 受注者は、河川堤防の開削を伴う施工に当たり、仮締切を設置する場合には、「 <u>仮締切堤設置基準(案)</u> 」(<u>国土交通省、平成26年12月一部改正</u>)の規定による。 | 3 | 1 | 11 | 5 | 3 | | | 受注者は、河川堤防の開削を伴う施工に当たり、仮締切を設置する場合には、「 <u>国土交通省 仮締切堤設置基準(案)</u> 」の規定による。 | 誤記修正（他の条文との整合） | |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 22 | | | | | | | | | 受注者は、土のうの中詰に当たり、中詰め材料に草木、根株その他腐食物及び角の立った石礫等が混入しないようにしなければならない。 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） | |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 23 | | | | | | | | | 受注者は、土のうの施工に当たり、木杭等を打ち込む場合は、土のうの中心を貫通するよう打ち込まなければならない。 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） | |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 24 | | | | | | | | | 受注者は、土のうの布設に当たり、土のうを積み上げる場合は、特に指定が無いかぎり小口を正面とし、所定の勾配によって積み上げなければならない。 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） | |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 25 | | 3 | 1 | 11 | 5 | 22 | | | 受注者は、締切盛土着手前に現状地盤を確認し、周囲の地盤や構造物に変状を与えないようにしなければならない。 | 3 | 1 | 11 | 5 | 22 | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 26 | | 3 | 1 | 11 | 5 | 23 | | | 受注者は、盛土部法面の整形を行う場合には、締固めて法面の崩壊が無いように施工しなければならない。 | 3 | 1 | 11 | 5 | 23 | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 27 | | 3 | 1 | 11 | 5 | 24 | | | 受注者は、止水シートの設置に当たり、突起物やシートの接続方法の不良により漏水しないように施工しなければならない。また、側壁や下床版等のコンクリートの打継部では必要に応じて増張りを施すものとする。 | 3 | 1 | 11 | 5 | 24 | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 3 | 1 | 11 | 5 | 28 | | 3 | 1 | 11 | 5 | 25 | | | 受注者は、殻運搬処理を行うに当たっては、運搬物が飛散しないように適正な処置を行わなければならない。 | 3 | 1 | 11 | 5 | 25 | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 3 | 1 | 11 | 17 | | | 3 | 1 | 11 | 17 | | | | 防護施設工 | 3 | 1 | 11 | 17 | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 17 | 1 | | 3 | 1 | 11 | 17 | 1 | | | 受注者は、防護施設の設置位置及び構造の選定に当たり、発破に伴う飛散物又は落石の周辺への影響が無いように留意しなければならない。 | 3 | 1 | 11 | 17 | 1 | | | | | 追加修正（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 18 | | | 3 | 1 | 11 | 18 | | | | 除雪工 | 3 | 1 | 11 | 18 | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 18 | 1 | | 3 | 1 | 11 | 18 | 0 | | | 受注者は、除雪を行うに当たり、路面及び構造物、計画地盤に損傷を与えないようにしなければならない。なお、万一損傷を与えた場合には、受注者の責任において元に戻さなければならない。 | 3 | 1 | 11 | 18 | 0 | | | | | 軽微な修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | |
|---|---|----|----|---|-----|---|---|---|----|----|-----|------|-----|------|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | |
| 3 | 1 | 11 | 18 | 2 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 21 | | | | 3 | 1 | 11 | 21 | | | | 足場工 | |
| 3 | 1 | 11 | 21 | 1 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 21 | 2 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 21 | 3 | | | 3 | 1 | 11 | 21 | 0 | | | | 軽微な修正（番号、鍵括弧） |
| 3 | 1 | 11 | 21 | 4 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 21 | 5 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 22 | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 22 | 1 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 22 | 2 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|----|----|---|-----|--|---|---|---|---|-----|------|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 1 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>一般事項</u> <u>受注者は、ケーブルクレーンは、つり荷荷重を考慮した適切な施設構造とするとともに、過積載とならないようにしなければならない。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 2 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>ケーブルクレーンの運転</u> <u>ケーブルクレーンの運転は、運転に必要な安全教育を受けた者が行わなければならない。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 3 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>ウインチの設置</u> <u>受注者は、ウインチの設置については、次の各号に留意しなければならない。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 3 | (1) | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>主索直下、作業索の内角とならない場所に設置する。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 3 | (2) | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>落石、出水などの被害を受けない場所に設置する。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 4 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>標示板等の設置</u> <u>受注者は、標示及び標識を作業現場の見やすい位置に設置しなければならない。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 5 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>支柱の作設</u> <u>受注者は、支柱の作設に当たっては、まず第一に安全上の見地から、使用される支柱や伐根等が十分な強度を有するものを使用しなければならない。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 6 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>ガイドブロックの取り付け</u> <u>受注者は、ガイドブロックの取り付けに当たっては、支柱の損傷及び折損の防止のために、あて木を使用し、台付けロープを腹一回以上巻き、両端のアイ部に取り付けなければならない。また、台付ロープの強度及び夾角を適正なものとしなければならない。内角に立ち入る必要がある箇所ではワイヤーロープ、ガイドブロックの飛来防止対策を講じなければならない。</u> | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 7 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | | <u>ガイラインの取り付け</u> <u>受注者は、ガイラインの取り付けに当たっては、次の各号に留意しなければならない。</u> | | | | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|----|----|----|-----|---|---|---|---|---|-----|------|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 7 | (1) | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 7 | (2) | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 7 | (3) | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 7 | (4) | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 8 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 9 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 10 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 11 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 23 | 12 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 3 | 1 | 11 | 24 | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|----|----|---|--|---|---|---|---|---|-----|------|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 1 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>一般事項</u> 受注者は、レールについては、道路などと適切な距離を保つとともに、機体が通行人などに接触しないように設置しなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 2 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>分岐点</u> 受注者は、分岐点を設ける場所は、できるだけ平坦なところとしなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 3 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>レールの傾斜角、支柱間隔</u> 受注者は、レールの傾斜角、支柱間隔についてはメーカーの定める基準等を参考に、適切なものとしなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 4 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>支柱の設置</u> 受注者は、支柱には、地圧盤を装着し、原則として岩に達するまで打ち込みをし、地層条件により岩に達しない場合は、十分な支持力を有する構造としなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 5 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>運行計画の作成</u> 受注者は、モノレールの運行や作業を始める前に、モノレールの運行時間や乗降位置などを定めた運行計画を作成しなければならない。特に定めのある場合を除き、運行計画を監督職員に提出するとともに、これに従って作業を行わなければならない。また、運行計画の内容を現場作業者に周知しなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 6 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>搭乗型モノレール</u> 受注者は、搭乗型のモノレールにあつては、モノレールの運転は、運転に必要な安全教育を受けた者を選任し、この者に行わせなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 7 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>合図</u> 受注者は、モノレールの発進や停止、危険を知らせるための合図の方法をあらかじめ定め、現場作業者に周知させるとともに、実際に作業前に合図を確かめなければならない。 | | | | | | | | |
| 3 | 1 | 11 | 24 | 8 | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | <u>レールの点検</u> 受注者は、レール・支柱の点検整備は、支柱の沈下や横揺れ、レールの歪や磨耗、レールジョイントの損傷、ボルトのゆるみなどに注意して行い、これらに異常が認められた場合は補強、修理、交換を行わなければならない。 | | | | | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|---|---|------|--|---|---|----|---|-----|------|--|----------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 3 | 1 | 13 | | | 第13節 | 工場製作工(共通) | 3 | 1 | 13 | | | 第13節 | 工場製作工(共通) | |
| 3 | 1 | 13 | 3 | | | 桁製作工 | 3 | 1 | 13 | 3 | | | 桁製作工 | |
| 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | | 製作加工については、以下の規定によるものとする。 | 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | | 製作加工については、以下の規定によるものとする。 | |
| 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | (1) | 原寸 | 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | (1) | 原寸 | |
| 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | ① | 受注者は、工作に着手する前に <u>コンピューターによる原寸システム等により</u> 、図面の不備や製作上に支障が無いかどうかを確認しなければならない。 | 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | ① | 受注者は、工作に着手する前に <u>原寸図を作成し</u> 、図面の不備や製作上に支障が無いかどうかを確認しなければならない。 <u>ただし、コンピューターによる原寸システム等を使用する場合で、原寸図を用いずに図面の不備や製作上の問題点を確認できる場合には、原寸図の作成を省略することができる。</u> | 実態に合わせ修正 |
| 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | ② | 受注者は、 <u>上記①において原寸システム等を使用しない場合は</u> 、監督員の承諾を得なければならない。 | 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | ② | 受注者は、 <u>原寸図の一部または全部を省略する場合には</u> 、監督員の承諾を得なければならない。 | 実態に合わせ修正 |
| 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | (8) | 予熱 受注者は、鋼種及び溶接方法に応じて、溶接線の両側100mm及びアークの前方100mmの範囲の母材を 表3-1-40 の条件を満たす場合に限り、表3-1-39 により予熱することを標準とする。なお、鋼材のPCM値を低減すれば予熱温度を低減できる。なお、この場合の予熱温度は 表3-1-41 とする。 | 3 | 1 | 13 | 3 | 1 | (8) | 予熱 受注者は、鋼種及び溶接方法に応じて、溶接線の両側100mm及びアークの前方100mmの範囲の母材を 表3-1-40 の条件を満たす場合に限り、表3-1-39 により予熱することを標準とする。なお、鋼材のPCM値を低減すれば予熱温度を低減できる。なお、この場合の予熱温度は 表3-1-40 とする。 | 誤記修正（番号） |
| 4 | | | | | 第4編 | 治山防潮工等 | 4 | | | | | 第4編 | 治山防潮工等 | |
| 4 | 1 | | | | 第1章 | 堤防・護岸 | 4 | 1 | | | | 第1章 | 堤防・護岸 | |
| 4 | 1 | 11 | | | 第11節 | カルバート工 | 4 | 1 | 11 | | | 第11節 | カルバート工 | |
| 4 | 1 | 11 | 1 | | | 一般事項 | 4 | 1 | 11 | 1 | | | 一般事項 | |
| 4 | 1 | 11 | 1 | 2 | | 受注者は、カルバートの施工に当たっては、「道路土工 カルバート工指針 7-1 基本方針」(日本道路協会、平成22年3月)、「道路土工要綱 2-7 排水施設の施工」(日本道路協会 平成21年6月)の規定によらなければならない。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 4 | 1 | 11 | 1 | 2 | | 受注者は、カルバートの施工に当たっては、「道路土工 カルバート工指針 7-1 基本方針、道路土工要綱 2-7 排水施設の施工」(日本道路協会 平成22年3月)の規定によらなければならない。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 誤記修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|-----|--|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| 4 | 4 | | | | 第4章 | 砂丘造成 | 4 | 4 | | | 第4章 | 砂丘造成 | |
| 4 | 4 | 1 | | | 第1節 | 適用 | 4 | 4 | 1 | | 第1節 | 適用 | |
| 4 | 4 | 1 | 1 | | | 適用工種 | 4 | 4 | 1 | 1 | | 適用工種 | |
| 4 | 4 | 1 | 1 | 0 | | 本章は、海岸防災林造成工事における <u>土工</u> 、砂丘造成、森林造成、防風林の造成、仮設工、その他これらに類する工種について適用する。 | 4 | 4 | 1 | 1 | 0 | 本章は、海岸防災林造成工事における、砂丘造成、森林造成、防風林の造成、仮設工、その他これらに類する工種について適用する。 | 文言追加修正 |
| 4 | 4 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | 4 | 4 | 2 | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | |
| 4 | 4 | 2 | 1 | | | 受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、 <u>以下の基準による。</u> <u>これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</u> <u>なお、基準等と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、疑義がある場合は監督員と協議しなければならない。</u> | 4 | 4 | 2 | 1 | | 受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、 <u>関係基準等によらなければならない。</u> | 追加修正（林野庁仕様書改訂による） |
| 4 | 4 | 2 | 1 | | (1) | <u>基準</u> <u>林野庁 治山技術基準 防災林造成編（平成27年4月）</u> | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 4 | 4 | 4 | | | 第4節 | 森林造成 | 4 | 4 | 4 | | 第4節 | 森林造成 | |
| 4 | 4 | 4 | 2 | | | 生育基盤盛土工 | 4 | 4 | 4 | 2 | | 生育基盤盛土工 | |
| 4 | 4 | 4 | 2 | 3 | | 盛土材料は、指定された土質のものとする。なお、特に指定されない場合は、工事の目的に適したものとする。 <u>具体的には、透水性に優れた砂質土を標準とする。</u> <u>また、再生資材等を盛土材料として使用する場合は、化学性の分析を事前に行い、植栽木や周辺環境へ与える影響が少ないことを確認した上で使用しなければならない。</u> | 4 | 4 | 4 | 2 | 3 | 盛土材料は、指定された土質のものとする。なお、特に指定がない場合には、工事の目的に適したものとする。 | 追加修正（林野庁仕様書改訂による） |
| 4 | 4 | 4 | 2 | 7 | | 受注者は、生育基盤盛土工の表層部は、植栽木の根系の発達に影響があることから、過度に締固めを行ってはならない。 <u>造成に使用する機械は、接地圧の低い機械を使用して走行回数を極力減らさなければならない。また、盛土の層数は、一層で盛ることを基本とし、軟らかく盛ることに配慮しなければならない。</u> | 4 | 4 | 4 | 2 | 7 | 受注者は、生育基盤盛土工の表層部は、植栽木の根系の発達に影響があることから、過度に締固めを行ってはならない。 | 追加修正（林野庁仕様書改訂による） |
| 4 | 4 | 4 | 4 | | | 排水工 | 4 | 4 | 4 | 4 | | 排水工 | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|-----|------|---|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 4 | 4 | 4 | 4 | 1 | | 受注者は、海岸防災林に設ける排水路等の側法は、現地の土質条件に応じて、その機能が維持される適切な勾配で施工しなければならない。また、速やかな排水が可能になるような勾配を付して施工しなければならない。 | 4 | 4 | 4 | 4 | 1 | | 受注者は、海岸林に設ける排水路等の側法は、現地の土質条件に応じて、その機能が維持される適切な勾配で施工しなければならない。また、速やかな排水が可能になるような勾配を付して施工しなければならない。 | 文言追加修正 |
| 5 | | | | | 第5編 | 溪間・山腹工等 | 5 | | | | | 第5編 | 溪間・山腹工等 | |
| 5 | 1 | | | | 第1章 | 共通施工 | 5 | 1 | | | | 第1章 | 共通施工 | |
| 5 | 1 | 3 | | | 第3節 | 伐開・除根等 | 5 | 1 | 3 | | | 第3節 | 伐開・除根等 | |
| 5 | 1 | 3 | 1 | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 3 | 1 | 0 | | <u>本節は、伐開、除根等として、伐開、除根等、排水処理、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 3 | 2 | | | 伐開・除根等 | 5 | 1 | 3 | 1 | | | 伐開・除根等 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 3 | 3 | | | 排水処理 | 5 | 1 | 3 | 2 | | | 排水処理 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 4 | | | 第4節 | 掘削工及び残土処理 | 5 | 1 | 4 | | | 第4節 | 掘削工及び残土処理 | |
| 5 | 1 | 4 | 1 | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 4 | 1 | 0 | | <u>本節は、掘削工及び残土処理として、掘削工、残土処理、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 4 | 2 | | | 掘削工 | 5 | 1 | 4 | 1 | | | 掘削工 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 4 | 3 | | | 残土処理 | 5 | 1 | 4 | 2 | | | 残土処理 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 5 | | | 第5節 | 床掘及び埋戻し | 5 | 1 | 5 | | | 第5節 | 床掘及び埋戻し | |
| 5 | 1 | 5 | 1 | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 5 | 1 | 0 | | <u>本節は、床掘及び埋戻しとして、床掘、埋戻し、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 5 | 2 | | | 床掘 | 5 | 1 | 5 | 1 | | | 床掘 | 軽微な修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|-----|---|---|---|---|----------|-----|------|--|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 5 | 1 | 5 | <u>3</u> | | | 埋戻し | 5 | 1 | 5 | <u>2</u> | | | 埋戻し | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 6 | | | 第6節 | 盛土工 | 5 | 1 | 6 | | | 第6節 | 盛土工 | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>6</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>6</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、盛土工として、準備、盛土材料、盛土方法、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 6 | <u>2</u> | | | 準備 | 5 | 1 | 6 | <u>1</u> | | | 準備 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 6 | <u>3</u> | | | 盛土材料 | 5 | 1 | 6 | <u>2</u> | | | 盛土材料 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 6 | <u>4</u> | | | 盛土方法 | 5 | 1 | 6 | <u>3</u> | | | 盛土方法 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 6 | <u>4</u> | 6 | | 受注者は、 <u>土留</u> 等構造物付近の締固めを振動式の小型コンパクター等によるものとし、その場合の1層の仕上り厚は、一般より薄くしなければならない。 | 5 | 1 | 6 | <u>3</u> | 6 | | 受注者は、 <u>擁壁</u> 等構造物付近の締固めを振動式の小型コンパクター等によるものとし、その場合の1層の仕上り厚は、一般より薄くしなければならない。 | 語句修正（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 7 | | | 第7節 | 基礎工 | 5 | 1 | 7 | | | 第7節 | 基礎工 | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>7</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>7</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、基礎工として、切込砂利及び栗石基礎、胴木基礎、木杭基礎、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 7 | <u>2</u> | | | 切込砂利及び栗石基礎 | 5 | 1 | 7 | <u>1</u> | | | 切込砂利及び栗石基礎 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 7 | <u>3</u> | | | 胴木基礎 | 5 | 1 | 7 | <u>2</u> | | | 胴木基礎 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 7 | <u>4</u> | | | 木杭基礎 | 5 | 1 | 7 | <u>3</u> | | | 木杭基礎 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 8 | | | 第8節 | 石積(張)工及びコンクリートブロック積(張)工 | 5 | 1 | 8 | | | 第8節 | 石積(張)工及びコンクリートブロック積(張)工 | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>8</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>8</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、石積(張)工及びコンクリートブロック積(張)工として、石積(張)工、コンクリートブロック積(張)工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 8 | <u>2</u> | | | 石積(張)工 | 5 | 1 | 8 | <u>1</u> | | | 石積(張)工 | 軽微な修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|----------|------|--|---|---|----|----------|-----|------|------|---|---|---|----------|--|--|--|--|--|--|-----------------|-----------------|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 1 | 8 | <u>3</u> | | | | | | | | | | | 5 | 1 | 8 | <u>2</u> | | | | | | | コンクリートブロック積(張)工 | コンクリートブロック積(張)工 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 9 | | | 第9節 | 鉄線籠工 | 5 | 1 | 9 | | | 第9節 | 鉄線籠工 | | | | | | | | | | | | | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>9</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>9</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、鉄線籠工として、据付け、詰石、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 9 | <u>2</u> | | | 据付け | 5 | 1 | 9 | <u>1</u> | | | 据付け | | | | | | | | | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 9 | <u>3</u> | | | 詰石 | 5 | 1 | 9 | <u>2</u> | | | 詰石 | | | | | | | | | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 10 | | | 第10節 | 矢板工 | 5 | 1 | 10 | | | 第10節 | 矢板工 | | | | | | | | | | | | | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>10</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>10</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、矢板工として、矢板工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 10 | <u>2</u> | | | 矢板工 | 5 | 1 | 10 | <u>0</u> | | | 矢板工 | | | | | | | | | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 11 | | | 第11節 | 管渠工 | 5 | 1 | 11 | | | 第11節 | 管渠工 | | | | | | | | | | | | | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>11</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項(1)</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>11</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、管渠工として、管の布設、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 1 | 11 | <u>2</u> | | | <u>一般事項(2)</u> | 5 | 1 | 11 | <u>1</u> | | | 一般事項 | | | | | | | | | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 11 | <u>3</u> | | | 管の布設 | 5 | 1 | 11 | <u>2</u> | | | 管の布設 | | | | | | | | | | | | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 1 | 13 | | | 第13節 | 鋼製柵工 | 5 | 1 | 13 | | | 第13節 | 鋼製柵工 | | | | | | | | | | | | | |
| <u>5</u> | <u>1</u> | <u>13</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | | | |
|---|---|----|---|---|---------------------------------------|---|---|----|---|---|------|--|------|-------------------|---|---|------|---|--------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | | | | | | |
| 5 | 1 | 13 | 1 | 0 | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） | | | | | |
| | | | | | 本節は、鋼製柵工として、鋼製柵工、その他これらに類する工種について定める。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 1 | 13 | 2 | | | 5 | 1 | 13 | 0 | | | 鋼製柵工 | | 軽微な修正（番号） | | | | | |
| 5 | 1 | 14 | | | 第14節 | 5 | 1 | 14 | | | 第14節 | 金網張工 | | | | | | | |
| 5 | 1 | 14 | 1 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） | | | | | |
| | | | | | 一般事項 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 1 | 14 | 1 | 0 | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） | | | | | |
| | | | | | 本節は、金網張工として、金網張工、その他これらに類する工種について定める。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 5 | 1 | 14 | 2 | | | 5 | 1 | 13 | 0 | | | 金網張工 | | 軽微な修正（番号） | | | | | |
| 5 | 3 | | | | 第3章 | 5 | 3 | | | | 第3章 | 溪間工 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 1 | | | 第1節 | 5 | 3 | 1 | | | 第1節 | 適用 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 1 | 1 | | | 5 | 3 | 1 | 1 | | | 適用工種 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | | 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | | 本章は、溪間工における、法面工、仮締切工、コンクリート治山ダム工、鋼製治山ダム工、鋼製柱治山ダム工、木製治山ダム工、根固工、治山ダム付属物設置工、付帯道路工、付帯道路施設工、その他これらに類する工種について適用する。 | 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | 本章は、溪間工における、法面工、仮締切工、コンクリート治山ダム工、鋼製治山ダム工、木製治山ダム工、根固工、治山ダム付属物設置工、付帯道路工、付帯道路施設工、その他これらに類する工種について適用する。 | 文言追加修正 |
| 5 | 3 | 2 | | | 第2節 | 5 | 3 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 2 | 1 | | (2) | 5 | 3 | 2 | 1 | | (2) | 参考資料 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 2 | 1 | | 参考資料 | 5 | 3 | 2 | 1 | | 参考資料 | 日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便覧(平成26年3月) | 5 | 3 | 2 | 1 | 参考資料 | 日本道路協会 鋼道路橋塗装・防食便(平成26年3月) | 表記修正 |
| 5 | 3 | 6 | | | 第6節 | 5 | 3 | 6 | | | 第6節 | 鋼製治山ダム工 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 6 | 8 | | | 5 | 3 | 6 | 8 | | | 間詰工及び袖かくし | | 文言追加修正 | | | | | |
| 5 | 3 | 6 | 8 | 0 | | 5 | 3 | 6 | 8 | 0 | | 間詰工及び袖かくしの施工については、第5編 5-3-5-7 間詰工及び袖かくしの規定による。 | 5 | 3 | 6 | 8 | 0 | 間詰工の施工については、第5編 5-3-5-7 間詰工及び袖かくしの規定による。 | 文言追加修正 |
| 5 | 3 | 8 | | | 第8節 | 5 | 3 | 8 | | | 第8節 | 木製治山ダム工 | | | | | | | |
| 5 | 3 | 8 | 1 | | | 5 | 3 | 8 | 1 | | | 一般事項 | | | | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | |
|----------|----------|----------|----------|----------|-----|---|---|---|---|----------|-----|------|--|--|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | | |
| 5 | 3 | 8 | 1 | 0 | | | 5 | 3 | 8 | 1 | 0 | | 本節は、木製治山ダム工として、材料、作業土工(床掘・埋戻し)、床掘土砂の処理、 <u>基礎工の施工</u> 、木製治山ダム本体工、木製側壁工、間詰工及び袖かくし、 <u>木製水叩工</u> 、その他これらに類する工種について定める。 | 本節は、木製治山ダム工として、材料、作業土工(床掘・埋戻し)、床掘土砂の処理、木製ダム本体工、木製側壁工、間詰工及び袖かくし、水叩工、その他これらに類する工種について定める。 | 文言追加修正 |
| 5 | 3 | 8 | 9 | | | | 5 | 3 | 8 | 9 | | | 木製水叩工 | 木製水叩工 | |
| 5 | 3 | 8 | 9 | 0 | | | 5 | 3 | 8 | 9 | 0 | | <u>間詰工及び袖かくし</u> の施工については、第5編 5-3-5-8 水叩工の規定による。 | <u>間詰工及び袖かくし</u> の施工については、第5編 5-3-5-8 水叩工の規定による。 | 文言修正 |
| 5 | 4 | | | | 第4章 | | 5 | 4 | | | | 第4章 | 流路工 | 流路工 | |
| 5 | 4 | 4 | | | 第4節 | | 5 | 4 | 4 | | | 第4節 | 床固工 | 床固工 | |
| 5 | 4 | 4 | 1 | | | | 5 | 4 | 4 | 1 | | | 一般事項 | 一般事項 | |
| 5 | 4 | 4 | 1 | 0 | | | 5 | 4 | 4 | 1 | 0 | | 本節は、床固工として、作業土工(床掘・埋戻し)、 <u>床掘土砂の処理</u> 、床固本体工、垂直壁工、側壁工、水叩工、魚道工、その他これらに類する工種について定める。 | 本節は、床固工として、作業土工(床掘・埋戻し)、 <u>埋戻し工</u> 、床固本体工、垂直壁工、側壁工、水叩工、魚道工、その他これらに類する工種について定める。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | | | | 第5章 | | 5 | 5 | | | | 第5章 | 山腹工 | 山腹工 | |
| 5 | 5 | 1 | | | 第1節 | | 5 | 5 | 1 | | | 第1節 | 適用 | 適用 | |
| 5 | 5 | 1 | 1 | | | | 5 | 5 | 1 | 1 | | | 適用工種 | 適用工種 | |
| 5 | 5 | 1 | 1 | 0 | | | 5 | 5 | 1 | 1 | 0 | | 本章は、山腹工における、 <u>土工</u> 、法切工、階段切付工、軽量盛土工、土留工、埋設工、落石防護工、暗渠工、山腹水路工、柵工、筋工、伏工、実播工、吹付工、法枠工、植栽工、山腹工付属物設置工、仮設工、その他これらに類する工種について適用する。 | 本章は、山腹工における、法切工、階段切付工、軽量盛土工、土留工、埋設工、落石防護工、暗渠工、山腹水路工、柵工、筋工、伏工、実播工、吹付工、法枠工、植栽工、山腹工付属物設置工、仮設工、その他これらに類する工種について適用する。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | 3 | | | 第3節 | | 5 | 5 | 3 | | | 第3節 | 法切工 | 法切工 | |
| <u>5</u> | <u>5</u> | <u>3</u> | <u>1</u> | | | | | | | | | | <u>一般事項</u> | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>5</u> | <u>3</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | | | | | | | | <u>本節は、法切工として、法切工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 5 | 3 | <u>2</u> | | | | 5 | 5 | 3 | <u>0</u> | | | 法切工 | 法切工 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 5 | 4 | | | 第4節 | | 5 | 5 | 4 | | | 第4節 | 階段切付工 | 階段切付工 | |
| <u>5</u> | <u>5</u> | <u>4</u> | <u>1</u> | | | | | | | | | | <u>一般事項</u> | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|----|---|--|---|---|---|----|---|-----|-------|------|--|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 5 | 5 | 4 | 1 | 0 | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | 新条文 | | | | | | | | | |
| 5 | 5 | 4 | 2 | | | 5 | 5 | 4 | 0 | | | 階段切付工 | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 5 | 5 | | | 第5節 | 5 | 5 | 5 | | | 第5節 | 軽量盛土工 | | |
| 5 | 5 | 5 | 1 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | 一般事項 | | | | | | | | | |
| 5 | 5 | 5 | 1 | 0 | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | 新条文 | | | | | | | | | |
| 5 | 5 | 5 | 2 | | | 5 | 5 | 5 | 0 | | | 軽量盛土工 | | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 5 | 6 | | | 第6節 | 5 | 5 | 6 | | | 第6節 | 土留工 | | |
| 5 | 5 | 6 | 1 | | | 5 | 5 | 6 | 1 | | | 一般事項 | | |
| 5 | 5 | 6 | 1 | 1 | | 5 | 5 | 6 | 1 | 1 | | | | 文言追加修正 |
| | | | | | 適用工種 | | | | | | | | | |
| | | | | | 本節は、土留工として、作業土工(床掘・埋戻し)、コンクリート土留工、鉄筋コンクリート土留工、石積及びコンクリートブロック積土留工、丸太積土留工、コンクリート板土留工、鋼製枠土留工、鉄線籠土留工、土のう積土留工、既製杭工、プレキャスト土留工、補強土壁工、井桁ブロック工、その他これらに類する工種について定める。 | | | | | | | | | 本節は、土留工として、作業土工(床掘・埋戻し)、コンクリート土留工、鉄筋コンクリート土留工、石積及びコンクリートブロック積土留工、丸太積土留工、コンクリート板土留工、鋼製枠土留工、鉄線籠土留工、土のう積土留工、既製杭工、プレキャスト擁壁工、補強土壁工、井桁ブロック工、その他これらに類する工種について定める。 |
| 5 | 5 | 6 | 1 | 2 | | 5 | 5 | 6 | 1 | 2 | | | | 文言追加修正 |
| | | | | | 土留工の施工 | | | | | | | | | |
| | | | | | 受注者は、土留工の施工に当たっては、切取面の保護及び切取土の処理に十分留意しなければならない。 | | | | | | | | | 受注者は、土留工の施工に当たっては、切取面の保護及び切取土の処理に十分留意しなければならない。 |
| 5 | 5 | 6 | 12 | | | 5 | 5 | 5 | 12 | | | | | 文言修正 |
| | | | | | プレキャスト土留工 | | | | | | | | | |
| 5 | 5 | 6 | 12 | 0 | | 5 | 5 | 5 | 12 | 0 | | | | 文言修正 |
| | | | | | プレキャスト土留工の施工については、第3編 3-1-15-2プレキャスト擁壁工の規定による。 | | | | | | | | | プレキャスト擁壁工の施工については、第3編 3-1-15-2プレキャスト擁壁工の規定による。 |
| 5 | 5 | 7 | | | 第7節 | 5 | 5 | 7 | | | 第7節 | 埋設工 | | |
| 5 | 5 | 7 | 1 | | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | 一般事項 | | | | | | | | | |
| 5 | 5 | 7 | 1 | 0 | | | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| | | | | | 新条文 | | | | | | | | | |
| | | | | | 本節は、埋設工として、埋設工、その他これらに類する工種について定める。 | | | | | | | | | 本節は、埋設工として、埋設工、その他これらに類する工種について定める。 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|-----|------|--|-----------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 5 | 5 | 7 | 2 | | | 埋設工 | 5 | 5 | 7 | 0 | | | 埋設工 | 軽微な修正（番号） |
| | | | | | | （削除） | 5 | 5 | 7 | 0 | 3 | | 受注者は、完成後、速やかに写真及び出来形図を作成し、監督員の確認を受けなければならない。 | 削除 |
| 5 | 5 | 8 | | | 第8節 | 落石防護工 | 5 | 5 | 8 | | | 第8節 | 落石防護工 | |
| 5 | 5 | 8 | 1 | | | 一般事項 | 5 | 5 | 8 | 1 | | | 一般事項 | |
| 5 | 5 | 8 | 1 | 1 | | 適用工種 本節は、落石防護工として、鋼製落石防止壁工、落石防護柵工、落石防護網工、固定工（ロープ伏工）、その他これらに類する工種について定める。 | 5 | 5 | 8 | 1 | 1 | | 本節は、落石防護工として、鋼製落石防止壁工、落石防護柵工、落石防護網工、固定工（ロープ伏工）、その他これらに類する工種について定める。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | 8 | 1 | 2 | | 落石防護工の施工 受注者は、落石防護工の施工に当たり、危険と思われる斜面内に浮石、転石がある場合には、その処理方法について監督員と協議しなければならない。ただし、緊急やむを得ない場合には、災害防止のための措置をとった後に、速やかに監督員に通知しなければならない。 | 5 | 5 | 8 | 1 | 2 | | 受注者は、落石防護工の施工に当たり、危険と思われる斜面内に浮石、転石がある場合には、その処理方法について監督員と協議しなければならない。ただし、緊急やむを得ない場合には、災害防止のための措置をとった後に、速やかに監督員に通知しなければならない。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | 8 | 1 | 3 | | 新たな落石箇所発見の処置 受注者は、工事着手前及び工事中に設計図書に示すほかに、当該斜面内において新たな落石箇所を発見したときは、直ちに監督員に連絡し、設計図書に関して監督員の指示を受けなければならない。 | 5 | 5 | 8 | 1 | 3 | | 受注者は、工事着手前及び工事中に斜面内に新たな落石箇所を発見した場合には、監督員と防止対策について協議しなければならない。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | 8 | 3 | | | 鋼製落石防護壁工 | 5 | 5 | 8 | 3 | | | 鋼製落石防護壁工 | |
| 5 | 5 | 8 | 3 | 1 | | 鋼製落石防護壁工の施工基準線は、メインポストの芯横断方向とする。 | 5 | 5 | 8 | 3 | 1 | | 鋼製落石防護壁の施工基準線は、メインポストの芯横断方向とする。 | 文言修正 |
| 5 | 5 | 9 | | | 第9節 | 暗渠工 | 5 | 5 | 9 | | | 第9節 | 暗渠工 | |
| 5 | 5 | 9 | 1 | | | 一般事項 | 5 | 5 | 9 | 1 | | | 一般事項 | |
| 5 | 5 | 9 | 1 | 1 | | 適用工種 本節は、暗渠工として、礫暗渠工、粗朶暗渠工、鉄線籠暗渠工、その他二次製品を用いた暗渠工、ボーリング暗渠工、その他これらに類する工種について定める。 | 5 | 5 | 9 | 1 | 1 | | 本節は、暗渠工として、礫暗渠工、粗朶暗渠工、鉄線籠暗渠工、その他二次製品を用いた暗渠工、ボーリング暗渠工、その他これらに類する工種について定める。 | 文言追加修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|----|---|---|--|---|---|----|---|---|------------|--|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 |
| | | | | | （削除） | 5 | 5 | 9 | 1 | 2 | | 受注者は、地下水排除のための暗渠の施工に当たっては、基礎を固めた後に、透水管及び集水用のフィルター材を埋設させなければならない。また、透水管及びフィルター材の種類・規格については、設計図書によらなければならない。 | 削除 |
| 5 | 5 | 9 | 1 | 2 | 暗渠工の施工 受注者は、暗渠工の施工中に所定の床掘をしても不透水層又は旧地盤に達しない場合には、監督員に報告し、その指示を受けなければならない。 | 5 | 5 | 9 | 1 | 3 | | 受注者は、暗渠工の施工中に所定の床掘をしても不透水層又は旧地盤に達しない場合には、監督員に報告し、その指示を受けなければならない。 | 文言追加修正及び軽微な修正（番号） |
| 5 | 5 | 9 | 1 | 3 | 埋戻し 受注者は、暗渠工の埋戻しは、礫や透水性の良い土から順次埋め戻し、仕上げなければならない。 | 5 | 5 | 9 | 1 | 4 | | 受注者は、暗渠工の埋戻しについては、礫や透水性の良い土から順次、 <u>密度の高い土へと埋戻しを行い仕上げ</u> なければならない。 | 文言追加修正及び軽微な修正（番号） |
| | | | | | （削除） | 5 | 5 | 9 | 1 | 5 | | 受注者は、完成の都度、埋戻しの前及び完成後、速やかに写真及び出来形図を作成し、監督員の確認を受けなければならない。 | 削除 |
| 5 | 5 | 10 | | | 第10節 山腹水路工 | 5 | 5 | 10 | | | 第10節 山腹水路工 | | |
| 5 | 5 | 10 | 1 | | 一般事項 | 5 | 5 | 10 | 1 | | 一般事項 | | |
| 5 | 5 | 10 | 1 | 1 | 本節は、水路工として、作業土工(床掘・埋戻し)、野面石水路工、練石張・空石張水路工、コンクリート水路工、編柵水路工、鉄線籠水路工、コルゲート水路工、 <u>現場</u> 打水路工、植生土のう水路工、張芝水路工、集水樹工、その他これらに類する工種について定める。 | 5 | 5 | 10 | 1 | 1 | | 本節は、水路工として、作業土工(床掘・埋戻し)、野面石水路工、練石張・空石張水路工、コンクリート水路工、編柵水路工、鉄線籠水路工、コルゲート水路工、 <u>場所</u> 打水路工、植生土のう水路工、張芝水路工、集水樹工、その他これらに類する工種について定める。 | 文言修正 |
| 5 | 5 | 10 | 9 | | 現場打水路工 | 5 | 5 | 10 | 9 | | 場所打水路工 | | |
| 5 | 5 | 10 | 9 | 1 | 水路勾配 受注者は、現地の状況により、設計図書に示された水路勾配により難しい場合には、監督員と協議するものとし、下流側または低い側から設置するとともに、底面は滑らかで一般的な勾配になるように施工しなければならない。 | 5 | 5 | 10 | 9 | 0 | | 受注者は、現地の状況により、設計図書に示された水路勾配により難しい場合には、監督員と協議するものとし、下流側または低い側から設置するとともに、底面は滑らかで一般的な勾配になるように施工しなければならない。 | 文言追加修正及び軽微な修正（番号） |
| 5 | 5 | 10 | 9 | 2 | 柵渠の施工 受注者は、柵渠の施工については、杭、板、かさ石及びはりに隙間が生じないように注意して施工しなければならない。 | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 5 | 14 | | | 第14節 実播工 | 5 | 5 | 14 | | | 第14節 実播工 | | |
| 5 | 5 | 14 | 4 | | 航空実播工 | 5 | 5 | 14 | 4 | | 航空実播工 | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書(その1)新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|---|---|-------------|---|---|---|----|---|-----|-------------|--|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 5 | 5 | 14 | 4 | 1 | | 航空実播工は、スラリー方式(粘液状のスラリー材(種子、肥料、浸食防止材、混和材、着色材等の混合物)を散布するもの)と、ベース方式(ベース材(種子、有機質土壌、肥料、保水材等を袋状またはペレット状にしたもの)を塊状にして分散投下し、次いでスラリー材を散布するもの)、空播き方式(肥料、種子)に区別するものとする。 | 5 | 5 | 14 | 4 | 1 | | 航空実播工は、スラリー方式(粘液状のスラリー材(基材)を散布するもの)と、ベース方式(ベース材を塊状にして分散投下し、次いでスラリー材(基材)を散布するもの)に区別するものとする。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | 14 | 4 | 2 | | 受注者は、散布実施に先立ち、施工地を空中から識別できるように現地に標識等を設置、 <u>またはGPS及び写真等による施工地確認をし、監督員に報告しなければならない。これ以外の方法による場合は、監督員の承諾を得るものとする。</u> | 5 | 5 | 14 | 4 | 2 | | 受注者は、散布実施に先立ち、施工地を空中から識別できるように現地に標識等を設置しなければならない。 | 文言追加修正 |
| 5 | 5 | 17 | | | 第17節 | 植栽工 | 5 | 5 | 17 | | | 第17節 | 植栽工 | |
| 5 | 5 | 17 | 1 | | | 一般事項 | 5 | 5 | 17 | 1 | | | 一般事項 | |
| 5 | 5 | 17 | 1 | 0 | | 本節は、植栽工として、植栽、追肥、補植、その他これらに類する工種について定める。 | 5 | 5 | 17 | 1 | 1 | | 本節は、植栽工として、植栽、追肥、補植、その他これらに類する工種について定める。 | 軽微な修正(番号) |
| | | | | | | <u>(削除)</u> | 5 | 5 | 17 | 1 | 2 | | <u>植栽、追肥、補植等は、特に設計図書に定める場合を除き、本節によるものとする。</u> | 削除 |
| 5 | 6 | | | | 第6章 | 地すべり防止工 | 5 | 6 | | | | 第6章 | 地すべり防止工 | |
| 5 | 6 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | 5 | 6 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | |
| 5 | 6 | 2 | 1 | | (2) | 参考資料 | 5 | 6 | 2 | 1 | | (2) | 参考資料 | |
| 5 | 6 | 2 | 1 | | 参考資料 2冊目 | 全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例(令和元年6月) | 5 | 3 | 2 | 1 | | 参考資料 2冊目 | 全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例(平成19年9月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 5 | 6 | 6 | | | 第6節 | 集水井工 | 5 | 6 | 6 | | | 第6節 | 集水井工 | |
| 5 | 6 | 6 | 1 | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加(林野庁仕様書改訂による) |
| 5 | 6 | 6 | 1 | 0 | | <u>本節は、集水井工として、掘削、土質柱状図、施工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加(林野庁仕様書改訂による) |
| 5 | 6 | 6 | 2 | | | 掘削 | 5 | 6 | 6 | 1 | | | 掘削 | 軽微な修正(番号) |
| 5 | 6 | 6 | 3 | | | 土質柱状図 | 5 | 6 | 6 | 2 | | | 土質柱状図 | 軽微な修正(番号) |
| 5 | 6 | 6 | 4 | | | 施工 | 5 | 6 | 6 | 3 | | | 施工 | 軽微な修正(番号) |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|----------|----------|-----------|----------|----------|------|--|---|---|----|----------|----------|------|---|-------------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 5 | 6 | 8 | | | 第8節 | 排土工及び押え盛土工 | 5 | 6 | 8 | | | 第8節 | 排土工及び押え盛土工 | |
| 5 | 6 | 8 | 1 | | | 一般事項 | 5 | 6 | 8 | 1 | | | 一般事項 | |
| 5 | 6 | 8 | 1 | <u>1</u> | | <u>本節は、排土工及び押え盛土工として、排土工、押え盛土工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 6 | 8 | 1 | <u>2</u> | | 受注者は、対象地域の状況及び周辺の環境を十分把握して施工計画を定めなければならない。 | 5 | 6 | 8 | 1 | <u>1</u> | | 受注者は、対象地域の状況及び周辺の環境を十分把握して施工計画を定めなければならない。 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 6 | 8 | 1 | <u>3</u> | | 受注者は、排土工及び押え盛土工の法面処理に当たっては、湧水及び法面を流下する水等の処理に留意しなければならない。 （略） | 5 | 6 | 8 | 1 | <u>2</u> | | 受注者は、排土工及び押え盛土工の法面処理に当たっては、湧水及び法面を流下する水等の処理に留意しなければならない。 （略） | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 6 | 8 | 3 | | | 押え盛土工 | 5 | 6 | 8 | 3 | | | 押え盛土工 | |
| 5 | 6 | 8 | 3 | 1 | | 受注者は、押え盛土工については、最初に法止め <u>土留</u> を施工し、次に盛土断面の法尻から盛土を開始するものとする。また、法止め <u>土留</u> を用いる場合には、基礎掘削等により、地すべりを誘発しないように留意しなければならない。 | 5 | 6 | 8 | 3 | 1 | | 受注者は、押え盛土工については、最初に法止め <u>擁壁</u> を施工し、次に盛土断面の法尻から盛土を開始するものとする。また、法止めに <u>擁壁</u> を用いる場合には、基礎掘削等により、地すべりを誘発しないように留意しなければならない。 | 文言修正 |
| 5 | 6 | 10 | | | 第10節 | シャフト工(深礎工) | 5 | 6 | 10 | | | 第10節 | シャフト工(深礎工) | |
| <u>5</u> | <u>6</u> | <u>10</u> | <u>1</u> | | | <u>一般事項</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| <u>5</u> | <u>6</u> | <u>10</u> | <u>1</u> | <u>0</u> | | <u>本節は、シャフト工(深礎工)として、深礎工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 6 | 10 | <u>2</u> | | | 深礎工 | 5 | 6 | 10 | <u>0</u> | | | 深礎工 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 6 | 10 | <u>2</u> | 1 | | <u>深礎工</u> の施工については、第3編 3-1-4-6 深礎工 に準ずるものとする。 | 5 | 6 | 10 | <u>0</u> | 1 | | <u>井筒工</u> の施工については、第3編 3-1-4-6 深礎工 に準ずるものとする。 | 文言修正 |
| 5 | 6 | 11 | | | 第11節 | アンカー工 | 5 | 6 | 11 | | | 第11節 | アンカー工 | |
| 5 | 6 | 11 | 1 | | | 一般事項 | 5 | 6 | 8 | 1 | | | 一般事項 | |
| 5 | 6 | 11 | 1 | <u>1</u> | | <u>本節は、アンカー工として、施工、その他これらに類する工種について定める。</u> | | | | | | | | 新規追加（林野庁仕様書改訂による） |
| 5 | 6 | 11 | 1 | <u>2</u> | | 受注者は、グラウトについては、緊張時あるいは設計荷重作用時に所定の強度を有する品質のものを使用しなければならない。 | 5 | 6 | 11 | 1 | <u>1</u> | | 受注者は、グラウトについては、緊張時あるいは設計荷重作用時に所定の強度を有する品質のものを使用しなければならない。 | 軽微な修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|---|---|---------|---|---|----|----|---|-----|---------|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 5 | 6 | 11 | 1 | 3 | | 受注者は、加工された引張り材については、試験によってその品質が保証されたものを使用しなければならない。 | 5 | 6 | 11 | 1 | 2 | | 受注者は、加工された引張り材については、試験によってその品質が保証されたものを使用しなければならない。 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 6 | 11 | 1 | 4 | | 受注者は、アンカー頭部に用いる台座、支圧板及び締付け金具については、所定の機能と十分な強度を有し、有害な変形を生じないものを使用しなければならない。 | 5 | 6 | 11 | 1 | 3 | | 受注者は、アンカー頭部に用いる台座、支圧板及び締付け金具については、所定の機能と十分な強度を有し、有害な変形を生じないものを使用しなければならない。 | 軽微な修正（番号） |
| 5 | 7 | | | | 第7章 | 地すべり防止工 | 5 | 7 | | | | 第7章 | 地すべり防止工 | |
| 5 | 7 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | 5 | 7 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | |
| 5 | 7 | 2 | 1 | | 基準類1冊目 | 全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例(令和元年6月) | 5 | 7 | 2 | 1 | | 基準類1冊目 | 全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例(平成19年9月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 5 | 7 | 2 | 1 | | 基準類6冊目 | PCフレーム協会 PCフレームアンカー工法設計・施工の手引き(平成24年9月) | 5 | 7 | 2 | 1 | | 基準類6冊目 | PCフレーム協会 PCフレームアンカー工法設計・施工の手引き(平成26年9月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| | | | | | | <u>(第11章、全て削除)</u> | 5 | 11 | | | | 第11章 | 仮設工 | 削除 |
| 6 | | | | | 第6編 | 林道 | 6 | | | | | 第6編 | 林道 | |
| 6 | 1 | | | | 第1章 | 林道 | 6 | 1 | | | | 第1章 | 林道 | |
| 6 | 1 | 9 | | | 第9節 | カルバート工 | 6 | 1 | 9 | | | 第9節 | カルバート工 | |
| 6 | 1 | 9 | 1 | | | 一般事項 | 6 | 1 | 9 | 1 | | | 一般事項 | |
| 6 | 1 | 9 | 1 | 4 | (2) | 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(以下、「要領」という。）」(国土交通省 平成30年10月)に従い行わなければならない。 | 6 | 1 | 9 | 1 | 4 | (2) | 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(以下、「要領」という。）」(国土交通省 平成27年3月)に従い行わなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 2 | | | | 第2章 | 舗装 | 6 | 2 | | | | 第2章 | 舗装 | |
| 6 | 2 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | 6 | 2 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | |
| 6 | 2 | 2 | 1 | | 基準類6冊目 | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧(平成31年3月) | 6 | 2 | 2 | 1 | | 基準類6冊目 | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧(平成19年6月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 2 | 2 | 1 | | 基準類11冊目 | 日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説(平成28年12月) | 6 | 2 | 2 | 1 | | 基準類11冊目 | 日本道路協会 防護柵の設置基準・同解説(平成20年1月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 2 | 2 | 1 | | 基準類12冊目 | 国土交通省 道路標識設置基準(令和元年10月) | 6 | 2 | 2 | 1 | | 基準類12冊目 | 日本道路協会 道路標識設置基準・同解説(昭和62年1月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 2 | 4 | | | 第4節 | 舗装工 | 6 | 2 | 4 | | | 第4節 | 舗装工 | |
| 6 | 2 | 4 | 1 | | | 一般事項 | 6 | 2 | 4 | 1 | | | 一般事項 | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|---|---|---|--------|---|---|---|---|---|-----|--------|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 6 | 2 | 4 | 1 | 2 | | 受注者は、舗装工において、使用する材料のうち、試験が伴う材料については、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成31年3月）の規定に基づき試験を実施する。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 2 | 4 | 1 | 2 | | 受注者は、舗装工において、使用する材料のうち、試験が伴う材料については、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成19年6月）の規定に基づき試験を実施する。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 3 | | | | 第3章 | 橋梁下部工 | 6 | 3 | | | | 第3章 | 橋梁下部工 | |
| 6 | 3 | 1 | | | 第1節 | 適用 | 6 | 3 | 1 | | | 第1節 | 適用 | |
| 6 | 3 | 1 | 1 | 4 | (2) | 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」(以下「要領」という。)(国土交通省、平成30年10月)に従い行わなければならない。 | 6 | 3 | 1 | 1 | 4 | (2) | 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(以下「要領」という。)」(国土交通省、平成30年10月)に従い行わなければならない。 | 軽微な修正（鍵括弧） |
| 6 | 3 | 1 | 1 | 5 | (2) | 微破壊・非破壊試験については、「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」(以下「要領」という。)(国土交通省、平成30年10月)に従い行わなければならない。 | 6 | 3 | 1 | 1 | 5 | (2) | 微破壊・非破壊試験については、「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領(以下「要領」という。)」(国土交通省、平成30年10月)に従い行わなければならない。 | 軽微な修正（鍵括弧） |
| 6 | 3 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | 6 | 3 | 2 | | | 第2節 | 適用すべき諸基準 | |
| 6 | 3 | 2 | 1 | | 基準類7冊目 | 日本道路協会 道路橋支承便覧(平成30年12月) | 6 | 3 | 2 | 1 | | 基準類7冊目 | 日本道路協会 道路橋支承便覧(平成16年4月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 3 | 6 | | | 第6節 | 橋台工 | 6 | 3 | 6 | | | 第6節 | 橋台工 | |
| 6 | 3 | 6 | 8 | | | 橋台躯体工 | 6 | 3 | 6 | 8 | | | 橋台躯体工 | |
| 6 | 3 | 6 | 8 | 4 | | 受注者は、支承部の箱抜き施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会 平成30年12月）の規定による。また、これ以外の施工方法による場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 3 | 6 | 8 | 4 | | 受注者は、支承部の箱抜き施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会 平成16年4月）の規定による。また、これ以外の施工方法による場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 3 | 8 | | | 第8節 | 鋼製橋脚工 | 6 | 3 | 8 | | | 第8節 | 鋼製橋脚工 | |
| 6 | 3 | 8 | 9 | | | 橋脚フーチング工 | 6 | 3 | 8 | 9 | | | 橋脚フーチング工 | |
| 6 | 3 | 8 | 9 | 4 | | 受注者は、アンカーフレームの架設については、「鋼道路橋施工便覧 Ⅲ現場施工編 第3章 架設工法」（日本道路協会 平成27年3月）による。また、コンクリートの打込みによって移動することがないように据付け方法を定め、施工計画書に記載しなければならない。また、フーチングのコンクリート打込みが終了するまでの間は、アンカーボルト・ナットが損傷を受けないように保護しなければならない。 | 6 | 3 | 8 | 9 | 4 | | 受注者は、アンカーフレームの架設については、「鋼道路橋施工便覧 Ⅲ現場施工 第3章 架設工法」（日本道路協会 平成27年3月）による。また、コンクリートの打込みによって移動することがないように据付け方法を定め、施工計画書に記載しなければならない。なお、フーチングのコンクリート打込みが終了するまでの間は、アンカーボルト・ナットが損傷を受けないように保護しなければならない。 | 誤記修正 |
| 6 | 3 | 8 | 9 | 6 | | 受注者は、フーチングの箱抜き施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会 平成30年12月）の規定による。また、これ以外の施工方法による場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 3 | 8 | 9 | 6 | | 受注者は、フーチングの箱抜き施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会 平成16年4月）の規定による。また、これ以外の施工方法による場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | |
|---|---|---|----|---|---------|---|---|---|----|---|---------|------|-----|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 |
| 6 | 3 | 8 | 11 | | | 6 | 3 | 8 | 11 | | | | |
| 6 | 3 | 8 | 11 | 2 | | 6 | 3 | 8 | 11 | 2 | | | |
| 6 | 4 | | | | 第4章 | 6 | 4 | | | | 第4章 | | |
| 6 | 4 | 2 | | | 第2節 | 6 | 4 | 2 | | | 第2節 | | |
| 6 | 4 | 2 | 1 | | 基準類7冊目 | 6 | 4 | 2 | 1 | | 基準類7冊目 | | |
| 6 | 4 | 5 | | | 第5節 | 6 | 4 | 5 | | | 第5節 | | |
| 6 | 4 | 5 | 10 | | | 6 | 4 | 5 | 10 | | | | |
| 6 | 4 | 5 | 10 | 0 | | 6 | 4 | 5 | 10 | 0 | | | |
| 6 | 5 | | | | 第5章 | 6 | 5 | | | | 第5章 | | |
| 6 | 5 | 1 | | | 第1節 | 6 | 5 | 1 | | | 第1節 | | |
| 6 | 5 | 1 | 1 | 4 | (2) | 6 | 5 | 1 | 1 | 4 | (2) | | |
| 6 | 5 | 1 | 1 | 5 | (2) | 6 | 5 | 1 | 1 | 5 | (2) | | |
| 6 | 5 | 2 | | | 第2節 | 6 | 5 | 2 | | | 第2節 | | |
| 6 | 5 | 2 | 1 | | 基準類5冊目 | 6 | 5 | 2 | 1 | | 基準類5冊目 | | |
| 6 | 5 | 2 | 1 | | 基準類12冊目 | 6 | 5 | 2 | 1 | | 基準類12冊目 | | |
| 6 | 5 | 5 | | | 第5節 | 6 | 5 | 5 | | | 第5節 | | |
| 6 | 5 | 5 | 6 | | | 6 | 5 | 5 | 6 | | | | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|---|---|------|---|---|---|----|---|-----|------|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 6 | 5 | 5 | 6 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会 平成30年12月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 5 | 5 | 6 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会 平成16年4月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 5 | 6 | | | 第6節 | プレビーム桁橋工 | 6 | 5 | 6 | | | 第6節 | プレビーム桁橋工 | |
| 6 | 5 | 6 | 2 | | | プレビーム桁製作工(現場) | 6 | 5 | 6 | 2 | | | プレビーム桁製作工(現場) | |
| 6 | 5 | 6 | 2 | 2 | (1) | リリースを行うときの下フランジコンクリートは、リリース直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度が圧縮強度0.6倍以下で、かつ圧縮強度が設計基準強度の90%以上であることを確認する。なお、圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて行うものとする。 | 6 | 5 | 6 | 2 | 2 | (1) | リリースを行うときの下フランジコンクリートの圧縮強度は、リリース直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度の1.7倍以上で、かつ設計基準強度の90%以上であることを確認する。なお、圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて行うものとする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 5 | 6 | 3 | | | 支承工 | 6 | 5 | 6 | 3 | | | 支承工 | |
| 6 | 5 | 6 | 3 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会 平成30年12月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 5 | 6 | 3 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会 平成16年4月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 5 | 7 | | | 第7節 | PCホロースラブ橋工 | 6 | 5 | 7 | | | 第7節 | PCホロースラブ橋工 | |
| 6 | 5 | 7 | 3 | | | 支承工 | 6 | 5 | 7 | 3 | | | 支承工 | |
| 6 | 5 | 7 | 3 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会 平成30年12月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 5 | 7 | 3 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会 平成16年4月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 5 | 8 | | | 第8節 | RCホロースラブ橋工 | 6 | 5 | 8 | | | 第8節 | RCホロースラブ橋工 | |
| 6 | 5 | 8 | 3 | | | 支承工 | 6 | 5 | 8 | 3 | | | 支承工 | |
| 6 | 5 | 8 | 3 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会 平成30年12月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 6 | 5 | 8 | 3 | 0 | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会 平成16年4月）による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 5 | 10 | | | 第10節 | PC箱桁橋工 | 6 | 5 | 10 | | | 第10節 | PC箱桁橋工 | |
| 6 | 5 | 10 | 3 | | | 支承工 | 6 | 5 | 10 | 3 | | | 支承工 | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|---|---|--------|---|---|----|---|---|--------|------|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 |
| 6 | 5 | 10 | 3 | 0 | | 6 | 5 | 10 | 3 | 0 | | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会 平成16年4月)による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 5 | 11 | | | 第11節 | 6 | 5 | 11 | | | 第11節 | | PC片持箱桁橋工 | |
| 6 | 5 | 11 | 3 | | | 6 | 5 | 11 | 3 | | | | 支承工 | |
| 6 | 5 | 11 | 3 | 0 | | 6 | 5 | 11 | 3 | 0 | | | 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会 平成16年4月)による。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 7 | | | | 第7章 | 6 | 7 | | | | 第7章 | | 林道維持 | |
| 6 | 7 | 1 | | | 第1節 | 6 | 7 | 1 | | | 第1節 | | 適用 | |
| 6 | 7 | 1 | 1 | 5 | | 6 | 7 | 1 | 1 | 5 | | | 受注者は、工事区間内での事故防止のため、やむを得ず臨機の措置を行う必要がある場合については、第1編 第1章 総則 1-1-1-50 臨機の措置 の規定に基づき処置しなければならない。 | 表記修正(番号) |
| 6 | 7 | 2 | | | 第2節 | 6 | 7 | 2 | | | 第2節 | | 適用すべき諸基準 | |
| 6 | 7 | 2 | 1 | | 基準類3冊目 | 6 | 7 | 2 | 1 | | 基準類3冊目 | | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧(平成31年3月) | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 7 | 3 | | | 第3節 | 6 | 7 | 3 | | | 第3節 | | 舗装工 | |
| 6 | 7 | 3 | 7 | | | 6 | 7 | 3 | 7 | | | | 路上再生工 | |
| 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | (2) | 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | (2) | | 添加材料の使用量 | |
| 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | ② | 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | ② | | 受注者は、施工に先立ち、「舗装調査・試験法便覧 5-3 再生路盤材料に関する試験」(日本道路協会 平成31年3月)の「5-3 再生路盤材料に関する試験」に示される試験法により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量について監督員の承諾を得なければならない。ただし、これまでの実績がある場合で、設計図書に示すセメント量の混合物が基準を満足し、施工前に使用するセメント量について監督員が承諾した場合には、一軸圧縮試験を省略することができるものとする。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | (3) | 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | (3) | | 最大乾燥施設 | |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | |
|---|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|---|-----|------|---|--|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | |
| 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | | 6 | 7 | 3 | 7 | 1 | | | 受注者は、施工開始日に採取した破砕混合直後の試料を用い、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成31年3月）に示される「G021 砂置換法による路床の密度の測定方法」により路上再生安定処理材料の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。 | 受注者は、施工開始日に採取した破砕混合直後の試料を用い、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会 平成19年6月）に示される「G021 砂置換法による路床の密度の測定方法」により路上再生安定処理材料の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 7 | 3 | 7 | 2 | (4) | 6 | 7 | 3 | 7 | 2 | (4) | | 基準密度 | 基準密度 | |
| 6 | 7 | 3 | 7 | 2 | | 6 | 7 | 3 | 7 | 2 | | | 受注者は、「路上表層再生工法技術指針(案) 7-3-2 品質管理」（日本道路協会 昭和62年1月）に示される方法に従い、アスファルト混合物の基準密度を求め、施工前に基準密度について監督員の承諾を得なければならない。 | 受注者は、「路上表層再生工法技術指針(案)の7-3-2 品質管理」（日本道路協会 昭和62年1月）に示される方法に従い、アスファルト混合物の基準密度を求め、施工前に基準密度について監督員の承諾を得なければならない | 誤記修正 |
| 6 | 7 | 6 | | | 第6節 | 6 | 7 | 6 | | | 第6節 | | 標識工 | 標識工 | |
| 6 | 7 | 6 | 1 | | | 6 | 7 | 6 | 1 | | | | 一般事項 | 一般事項 | |
| 6 | 7 | 6 | 1 | 1 | | 6 | 7 | 6 | 1 | 0 | | | 本節は、標識工として、小型標識工、その他これらに類する工種について定める。 | 本節は、標識工として、小型標識工、その他これらに類する工種について定める。 | 軽微な修正（番号） |
| 6 | 7 | 6 | 1 | 2 | | | | | | | | | 受注者は、設計図書により標識を設置しなければならないが、障害物がある場合などは、速やかに監督員に連絡し、設計図書に関して、監督員と協議しなければならない。 | | 新規追加 |
| 6 | 7 | 6 | 1 | 3 | | | | | | | | | 受注者は、標識工の施工にあたって、「道路標識設置基準第4章基礎及び施工」（国土交通省、令和元年10月）の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」（日本道路協会、平成21年6月）の規定、第3編3-1-3-6小型標識工、3-1-3-3作業土工（床掘り・埋戻し）、3-1-10-5土留・仮締切工の規定、及び「道路標識ハンドブック」（全国道路標識・標示業協会、令和元年8月）による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。 | | 新規追加 |
| 6 | 7 | 6 | 2 | | | 6 | 7 | 6 | 2 | | | | 材料 | 材料 | |
| 6 | 7 | 6 | 2 | 4 | | 6 | 7 | 6 | 2 | 4 | | | 受注者は、標示板には設計図書に示す位置に補強材を標示板の表面に歪みの出ないようにスポット溶接をしなければならない。アルミニウム合金材の溶接作業は（一社）軽金属溶接協会規格LWSP7903-1979「スポット溶接作業標準（アルミニウム及びアルミニウム合金）」（一社）日本溶接協会規格WES7302と同一規格）を参考に行うことが望ましい。 | 受注者は、標示板には設計図書に示す位置にリブを標示板の表面に歪みの出ないようにスポット溶接をしなければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | | | | |
|---|---|---|---|---|------------|---|---|---|---|---|------------|------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|---|--------------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 項以下 | 現行条文 | | | |
| 6 | 7 | 6 | 2 | 6 | | 6 | 7 | 6 | 2 | 6 | | | | | 受注者は、標示板の文字や記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「 <u>道路標識設置基準</u> 」（ <u>国土交通省、令和元年10月</u> ）による色彩と寸法で標示する。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 受注者は、標示板の文字や記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「 <u>道路標識設置基準・同解説</u> 」（ <u>日本道路協会、昭和62年1月</u> ）による色彩と寸法で標示する。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 9 | | | | 第9章 | 6 | 9 | | | | 第9章 | | 林道修繕 | | | | |
| 6 | 9 | 1 | | | 第1節 | 6 | 9 | 1 | | | 第1節 | | 適用 | | | | |
| 6 | 9 | 1 | 1 | 5 | | 6 | 9 | 1 | 1 | 5 | | | | | 受注者は、工事区間内での事故防止のため、やむを得ず臨機の措置を行う必要がある場合には、第1編 1-1-1- <u>50</u> 臨機の措置 の規定に基づき処置しなければならない。 | 受注者は、工事区間内での事故防止のため、やむを得ず臨機の措置を行う必要がある場合には、第1編 1-1-1- <u>49</u> 臨機の措置 の規定に基づき処置しなければならない。 | 表記修正（番号） |
| 6 | 9 | 2 | | | 第2節 | 6 | 9 | 2 | | | 第2節 | | 適用すべき諸基準 | | | | |
| 6 | 9 | 2 | 1 | | 基準類3 冊目 | 6 | 9 | 2 | 1 | | 基準類3 冊目 | | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成 <u>31年3月</u> ） | 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成 <u>19年6月</u> ） | | | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 9 | 8 | | | 第8節 | 6 | 9 | 8 | | | 第8節 | | 標識工 | | | | |
| 6 | 9 | 8 | 2 | | | 6 | 9 | 8 | 2 | | | | 材料 | | | | |
| 6 | 9 | 8 | 2 | 6 | | 6 | 9 | 8 | 2 | 6 | | | | | 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識 区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「 <u>道路標識設置基準</u> 」（ <u>国土交通省、令和元年10月</u> ）による色彩と寸法で、標示しなければならない。これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識 区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「 <u>道路標識設置基準・同解説</u> 」（ <u>日本道路協会 昭和62年1月</u> ）による色彩と寸法で、標示しなければならない。また、これにより難い場合には、監督員の承諾を得なければならない。 | 諸基準類の改訂に伴う修正 |
| 6 | 9 | 9 | | | 第9節 | 6 | 9 | 9 | | | 第9節 | | 区画線工 | | | | |
| 6 | 9 | 9 | 2 | | | 6 | 9 | 9 | 2 | | | | 区画線工 | | | | |
| 6 | 9 | 9 | 2 | 0 | | 6 | 9 | 9 | 2 | 0 | | | | | 区画線工の施工については、 <u>第3編 3-1-3-8</u> 区画線工の規定による。 | 区画線工の施工については、 <u>第2編 2-2-12-2</u> 区画線工の規定による。 | 表記修正（番号） |

新潟県林業土木工事標準仕様書（その1）新旧対照表

| 新 | | | | | | 旧 | | | | | | 改訂理由 | | |
|---|---|----|---|----|------|---|---|---|----|---|-----|------|---|----------|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | 編 | 章 | 節 | 条 | 項 | 項以下 | | 現行条文 | |
| 6 | 9 | 20 | | | 第20節 | 橋脚巻立て工 | 6 | 9 | 20 | | | 第20節 | 橋脚巻立て工 | |
| 6 | 9 | 20 | 4 | | | RC橋脚鋼板巻立て工 | 6 | 9 | 20 | 4 | | | RC橋脚鋼板巻立て工 | |
| 6 | 9 | 20 | 4 | 27 | | 受注者は、施工中、特にコンクリートへのアンカー孔の穿孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編 1-1-1-38環境対策の規定によらなければならない。なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合には、監督員と協議しなければならない。 | 6 | 9 | 20 | 4 | 27 | | 受注者は、施工中、特にコンクリートへのアンカー孔の穿孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編 1-1-1-37環境対策の規定によらなければならない。なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合には、監督員と協議しなければならない。 | 表記修正（番号） |
| 6 | 9 | 20 | 5 | | | 橋脚コンクリート巻立て工 | 6 | 9 | 20 | 5 | | | 橋脚コンクリート巻立て工 | |
| 6 | 9 | 20 | 5 | 6 | | 施工中、特にコンクリートへの削孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編 1-1-1-38環境対策の規定による。なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合には、監督員と協議するものとする。 | 6 | 9 | 20 | 5 | 6 | | 施工中、特にコンクリートへの削孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編 1-1-1-37環境対策の規定による。なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合には、監督員と協議するものとする。 | 表記修正（番号） |